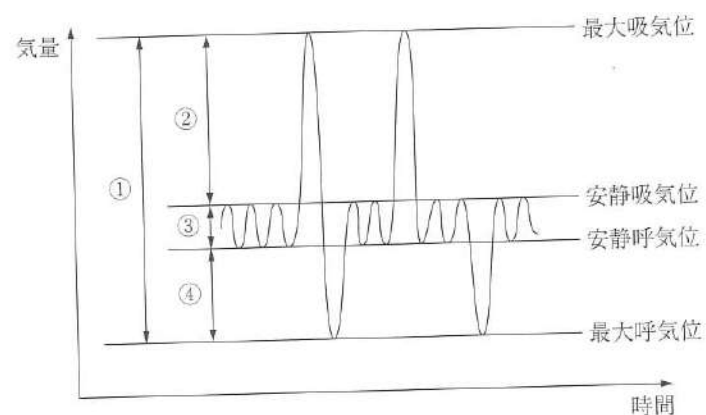


# 341

午後問題..... 解答・解説

[問題 1] 肺気量分画を図に示す。



肺活量はどれか。1つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶生理学

選択肢考察

- a ①は肺活量である。  
× b ②は予備吸気量である。  
× c ③は1回換気量である。  
× d ④は予備呼気量である。

正解 a

📖 要点集 341:P23

[問題 2] 高齢者の加齢変化で増加または上昇がみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 咀嚼能率  
b 味覚閾値  
c 歯髄腔容積  
d 顎骨骨密度

▶生理学

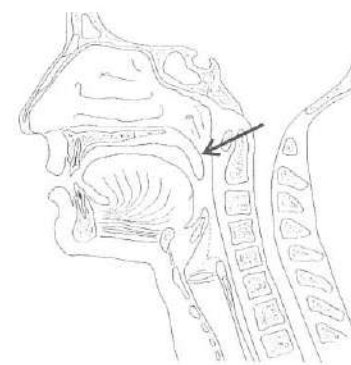
選択肢考察

- × a 筋力の低下に伴い咀嚼能率も低下する。  
○ b 閾値の上昇とは“感覚が鈍くなる”ことを意味する。加齢により味覚閾値の上昇、すなわち味覚は鈍くなる。  
× c 加齢により第二あるいは第三象牙質が形成されるため、歯髄腔容積は減少する。  
× d 骨代謝が低下するため、骨密度は低下する。

正解 b

📖 DH25:P485

[問題 3] 頭部の断面の模式図を示す。



矢印が示すのはどれか。1つ選べ。

- a 声帯  
b 軟口蓋  
c 喉頭蓋  
d 甲状軟骨

▶解剖学

選択肢考察

- × a 声帯は喉頭の内部に前後に走る1対のヒダの鋭い辺縁で、甲状軟骨内面から起こり、ほぼ水平に後方に向かって走り、披裂軟骨の声帯突起に付着している。  
○ b 矢印は軟口蓋を示す。硬口蓋の後方に続くところの、口蓋後方1/3を占める口腔上壁の一部である。後端は遊離して口峽上縁となり、正中部で筋性ヒダの口蓋垂を形成する。  
× c 喉頭蓋は喉頭の上部、舌根部の後方に位置する弾性軟骨板である。喉頭の入口である喉頭口の前壁を形成する。嚥下時には、喉頭蓋が単独で弁のように喉頭口をふさぐのではなく、喉頭が反射的に前上方(舌根)に向かって押し付けられ、そのため受動的に喉頭蓋が喉頭口を塞ぐ。  
× d 甲状軟骨は喉頭を形成する3種の軟骨のうち最大のもので、ほかの2つの軟骨を不完全に取り囲んでいる。

正解 b

📖 要点集 341:P8

[問題 4] 永久細胞はどれか。1つ選べ。

- a 骨芽細胞  
b 心筋細胞  
c 線維芽細胞  
d 血管内皮細胞

▶生理学

選択肢考察

- b 体細胞は増殖能と分化能を基準に①不安定細胞(血液細胞、皮膚、消化管粘膜細胞、子宮や尿路系細胞、骨髄組織など)、②安定細胞(肝細胞、線維芽細胞、血管内皮細胞、末梢神経など)、③永久細胞に大別される。永久細胞とは生涯を通じてきわめて安定かつ恒常的に維持される組織・細胞で、一般的に分裂や増殖は起こらないとされ、これには神経組織と骨格筋細胞や心筋細胞が含まれる。

正解 b

📖 要点集 341:P43

[問題 5] 舌の写真(別冊午後 No. 1)を別に示す。  
矢印の部位の味覚を伝えるのはどれか。1つ選べ。

- a 下顎神経
- b 鼓索神経
- c 鼓室神経
- d 迷走神経

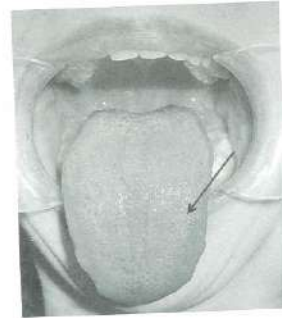
▶解剖学

## 選択肢考察

- × a 三叉神経は第1枝の眼神経、第2枝の上顎神経、第3枝の下顎神経を分枝する。このうち下顎神経は舌前方2/3の知覚を支配する。
- b 顔面神経から分枝した鼓索神経は、矢印が示す舌前方2/3の味覚を支配する。
- × c 鼓室神経は舌咽神経の枝で、鼓室粘膜の知覚を支配する。舌咽神経は舌後方1/3の知覚および味覚を支配する。
- × d 迷走神経は軟口蓋や咽頭部の味覚を支配する。

正解 b

📖 要点集 341:P3



No. 1

[問題 6] 歯根外形の決定に関与するのはどれか。1つ選べ。

- a トームス線維
- b シャーピー線維
- c マラッセ上皮遺残
- d ヘルトヴィッヒ上皮鞘

▶解剖学

## 選択肢考察

- × a トームス線維は、象牙細管の中に存在する象牙芽細胞の突起である。
- × b シャーピー線維は固有歯槽骨やセメント質に埋め込まれた部分で、歯根膜の主線維とは区別される。
- × c 歯根象牙質の形成が始まるとヘルトヴィッヒ上皮鞘は断裂し、その一部がマラッセ上皮遺残として歯根膜のセメント質側に残存する。
- d ヘルトヴィッヒ上皮鞘は内・外エナメル上皮から形成され、歯根の外形を決定するのに重要な役割を果たしている。

正解 d

📖 要点集 341:P12

[問題 7] 奇形発生の臨界期はどれか。1つ選べ。

- a 受精後2週
- b 受精後12週
- c 受精後4か月
- d 受精後6か月

▶解剖学

## 選択肢考察

- b 奇形の多くは、主要な器官の形態形成が行われる器官形成期(受精後約12週)に病因が作用して生じ、この期間を奇形発生の臨界期という。

正解 b

[問題 8] 浮腫の要因はどれか。1つ選べ。

- a 静水圧の上昇
- b 血管透過性の低下
- c リンパ還流の亢進
- d 血漿膠質浸透圧の上昇

▶病理学

## 選択肢考察

- a 静水圧(動脈側の血圧)の上昇によって浮腫が生じる。
- × b 血管透過性の亢進により浮腫が生じる(炎症性浮腫)。
- × c 組織の組織間液はリンパ管から静脈に還流するため、リンパ還流の阻害によって浮腫が生じる。
- × d 局所の組織間液に水分が増加する状態を浮腫という。血漿膠質浸透圧の低下により、血管内から組織液へ水分が移動し、浮腫が生じる。

正解 a

📖 要点集 341:P45

[問題 9] 内毒素と比べた外毒素の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 毒性が弱い。
- b 耐熱性である。
- c リポ多糖である。
- d トキシイド化できる。

▶微生物学

## 選択肢考察

- × a 内毒素に比べ毒性が強い。
- × b 外毒素はタンパク質であるため、熱に弱く不安定である。
- × c 外毒素は菌体外の分泌タンパク質である。
- d 外毒素はホルムアルデヒドでトキシイド化が可能である。

正解 d

📖 要点集 341:P34

〔問題 10〕 局所の血液量の減少はどれか。1つ選べ。

- a 充血
- b うっ血
- c 虚血
- d 貧血

▶病理学

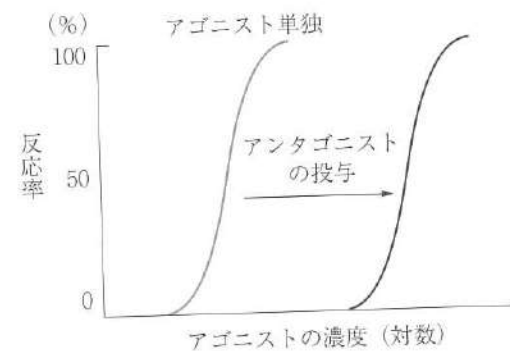
## 選択肢考察

- × a 充血は局所への動脈血の供給が増加した状態をいう。
- × b うっ血は静脈血の還流障害によって局所の静脈血が増加した状態をいう。
- c 局所の血液量の減少を虚血という。虚血は血管の圧迫や塞栓症などによって生じ、虚血が長時間持続すると、萎縮や壊死、梗塞が生じる。
- × d 貧血は赤血球内のヘモグロビンが減少した状態をいう。

正解 c

📖 要点集 341:P45

〔問題 11〕 薬物の用量・反応関係を図に示す。



図が示す薬物の併用効果はどれか。1つ選べ。

- a 相加作用
- b 相乗作用
- c 競合的拮抗
- d 非競合的拮抗

▶薬理学

## 選択肢考察

- × a 相加作用は、薬物を併用したときの効果がそれぞれの薬物の効力の和に等しい場合である。
- × b 相乗作用は、薬物を併用したときの効果が薬物の効力の和よりも大きい場合である。
- c 図は競合的拮抗である。2種類の薬物が同じ作用部位あるいは受容体に対して競合する場合で、アゴニストの濃度を増加させると、作用が回復する。競合的拮抗では、用量反応曲線は右方に移動する。
- × d 非競合的拮抗は、2種類の薬物が異なる部位に作用して、アゴニストの作用を減弱させる場合である。非競合的拮抗では、アゴニストの濃度を増加させても、その作用は完全には回復しない。

正解 c

📖 要点集 341:P60

〔問題 12〕 服薬指導において「患者が積極的に薬物の決定に参加し、その決定に従って治療を受けること」はどれか。1つ選べ。

- a アドヒアランス
- b コンプライアンス
- c ポリファーマシー
- d タキフィラキシー

▶薬理学

## 選択肢考察

- a アドヒアランスは、患者が積極的に薬物の決定に参加し、その決定に従って治療を受けることをいう。
- × b コンプライアンスは、患者が医療者の指示に従って処方された医薬品を適切に服薬することをいう。
- × c ポリファーマシー(多剤服用)は高齢者で見られるもので、高齢者は様々な疾患をもつことが多く、多剤服用になりやすい傾向にある。ポリファーマシーによる副作用の発生を避けるには、患者の個々の病態などを考慮して薬物療法を行う必要がある。
- × d タキフィラキシーは薬物を連続投与したとき、比較的短時間のうちに薬物に対する反応性が低下することをいう。

正解 a

📖 要点集 341:P61

〔問題 13〕 薬物と副作用の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a アトロピン —— 流涎
- b アドレナリン —— 喘息発作
- c ビロカルピン —— 口腔乾燥
- d フェニトイン —— 歯肉増殖

▶薬理学

## 選択肢考察

- × a アトロピンは副交感神経遮断薬で、唾液分泌を抑制する作用をもつ。従って口腔乾燥を呈する。
- × b アドレナリンは交感神経作用薬で、血圧上昇作用や気管支拡張作用がある。喘息の治療薬として用いられる。
- × c Sjögren 症候群など口腔乾燥をもつ患者には、副交感神経作用薬としてビロカルピンやセビメリンが用いられる。
- d フェニトインは抗てんかん薬である。歯肉増殖の副作用をもつ。

正解 d

📖 要点集 341:P65

[問題 14] HIV が感染する細胞はどれか。1つ選べ。

- a NK 細胞
- b 肥満細胞
- c ヘルパー T 細胞
- d 細胞傷害性 T 細胞

▶微生物学

#### 選択肢考察

- × a NK 細胞 (ナチュラルキラー細胞) は自然免疫に関与する細胞である。
- × b 肥満細胞は IgE を介した I 型アレルギー反応の主体をなす細胞である。
- c HIV が血液を介して体内に侵入すると、ヘルパー T 細胞やマクロファージなどの CD4 分子をもつ細胞に特異的に感染する。感染したウイルスの RNA は、自身のもつ逆転写酵素を用いて 2 本鎖 DNA を合成する。
- × d 細胞傷害性 T 細胞は CD8 分子を発現し、ウイルス感染細胞や腫瘍細胞を破壊する。

📖 要点集 341:P27

正解 c

[問題 15] 口腔潜在的悪性疾患はどれか。1つ選べ。

- a 舌 癌
- b 悪性貧血
- c 悪性黒色腫
- d 口腔扁平苔癬

▶病理学

#### 選択肢考察

- d 口腔潜在的悪性疾患は、正常粘膜であるか臨床的に明確な前駆病変であるかに関わらず、口腔におけるがんの発生リスクを有する臨床の状態をいう。口腔潜在的悪性疾患には**白板症**、**紅板症**、**口腔扁平苔癬**などがある。

正解 d

📖 DH 25:P412

[問題 16] 保健所の設置で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 設置は任意である。
- b 設置主体は市町村である。
- c 二次医療圏ごとに設置される。
- d 設置の根拠法令は保健所法である。

▶衛生学・公衆衛生学

#### 選択肢考察

- × a、× d 地域保健法に基づき、保健所の設置が義務づけられている。
- × b 設置主体は都道府県、指定都市、中核市、その他の政令市(保健所政令市)、特別区(東京都)である。
- c 保健所は二次医療圏ごとに設置される。

正解 c

📖 DH 25:P216

#### 要点

##### ● 保健所と市町村保健センターの比較

	保健所	市町村保健センター
根拠法令	地域保健法(第5条)	地域保健法(第18条)
設置主体	都道府県、指定都市、中核市、その他の政令市(保健所政令市)、特別区	市町村
設置単位	二次医療圏	一次医療圏
設置の必要性	義務	任意
主な業務・サービス	技術的・専門的な所掌事務 地域保健に関する調査研究・情報管理 市町村への技術援助・職員研修 広域にわたる健康危機管理	対人保健サービス (健康相談、保健指導、健康診査など)
職員構成	医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、歯科衛生士など	保健師、管理栄養士、栄養士、歯科衛生士など
特徴	広域的・専門的・技術的対応 市町村のサポート	地域住民に密着したサービスの提供 相談窓口

[問題 17] 介入研究はどれか。1つ選べ。

- a 症例報告
- b 症例対照研究
- c コホート研究
- d ランダム化比較試験

▶衛生学・公衆衛生学

#### 選択肢考察

- × a 疫学研究は介入を加える介入研究と、介入をしない観察研究に大別できる。症例報告は研究目的での介入を行ったものではなく、観察研究である。
- × b、× c 症例対照研究(患者対照研究)は症例群(患者群)と対照群を設定し、過去の曝露要因の状況を調査する。コホート研究はある要因への曝露群と非曝露群を設定し、疾病の発生状況を調査する。どちらも観察研究である。
- d ランダム化比較試験はランダムに群分けされた集団に対して異なる介入を行い、特定要因の寄与を調べる方法である。

正解 d

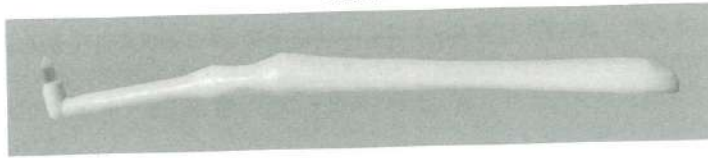
📖 DH 25:P242

[問題 18] 口腔清掃用具の写真(別冊午後 No. 2)を別に示す。  
使用目的で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 義歯清掃
- b 口腔粘膜清掃
- c 根分岐部の清掃
- d 最後臼歯遠心面の清掃

▶口腔衛生学

No. 2



## 選択肢考察

- × a 義歯清掃には義歯用ブラシを用いる。
- × b 口腔粘膜清掃には粘膜ブラシやスポンジブラシを用いる。
- c、○ d 写真はタフトブラシで、最後臼歯遠心面や歯間部、根分岐部、叢生部位、孤立歯、矯正装置の装着部、ポンティック基底部などの清掃に用いる。

正解 c、d

DH 25:P 690

[問題 19] ある調査で歯周病患者 100 名と性・年齢をマッチングした健常者 110 名のうち、喫煙者はそれぞれ 20 名と 10 名であった。

喫煙の歯周病に対するオッズ比はどれか。1つ選べ。

- a 1.0
- b 1.5
- c 2.0
- d 2.5

▶衛生学・公衆衛生学

## 選択肢考察

○ d

	歯周病患者	健常者	計
喫煙者	20	10	30
非喫煙者	80	100	180
計	100	110	210

喫煙者が歯周病に罹る確率を p、非喫煙者が歯周病に罹る確率を q とすると、

$$p = \frac{20}{30}, q = \frac{80}{180}$$

従って、

$$\text{オッズ比} = \frac{p/(1-p)}{q/(1-q)} = \frac{\frac{20}{30} / \frac{10}{30}}{\frac{80}{180} / \frac{100}{180}} = \frac{20 \times 100}{10 \times 80} = 2.5$$

正解 d

DH 25:P 241

[問題 20] 地方公共団体が受動喫煙防止などについて制定する法の形式はどれか。1つ選べ。

- a 憲法
- b 法律
- c 政令
- d 条例

▶衛生学・公衆衛生学

## 選択肢考察

- × a 憲法は国家の基本秩序を定める根本規範である。統治機構や国民の権利と義務などを定めている。たとえ国家といえども憲法の規定には反することはできない。
- × b 法律は立法府(国会)の議決により制定される。
- × c 政令は命令のうち内閣が制定する法である。閣議で決定される。
- d 地方公共団体は国で定める法とは別に、地方議会の決議を経て独自の法規を条例として制定できる。その効力は法律の優位性を遵守するが、自治立法権を積極的に解釈する立場から、法目的実現のために基準を国の法律より厳しくすることなどがある。例えば、東京都が2020年に全面施行した受動喫煙防止条例では、国が定めた健康増進法改正案より厳しい規制が規定された。

正解 d

DH 25:P 176

## 要点

我が国の国内法は、国民が制定する法規範の「憲法」、国会が制定する法規範の「法律」、国の行政機関が制定する法規範の「命令」(政令・省令)、地方公共団体が制定する法規範の「条例、規則」がある。国内法には種類ごとに優劣関係がある。上位の法令が優先され、上位の法令に反する下位の法令は効力を持たない。優劣関係は、概ね「憲法 > 法律 > 命令 > 条例」の順になっている。

[問題 21] ブラッシングで除去できるのはどれか。2つ選べ。

- a 食物残渣
- b ペリクル
- c 外来性色素
- d マテリアアルバ

▶口腔衛生学

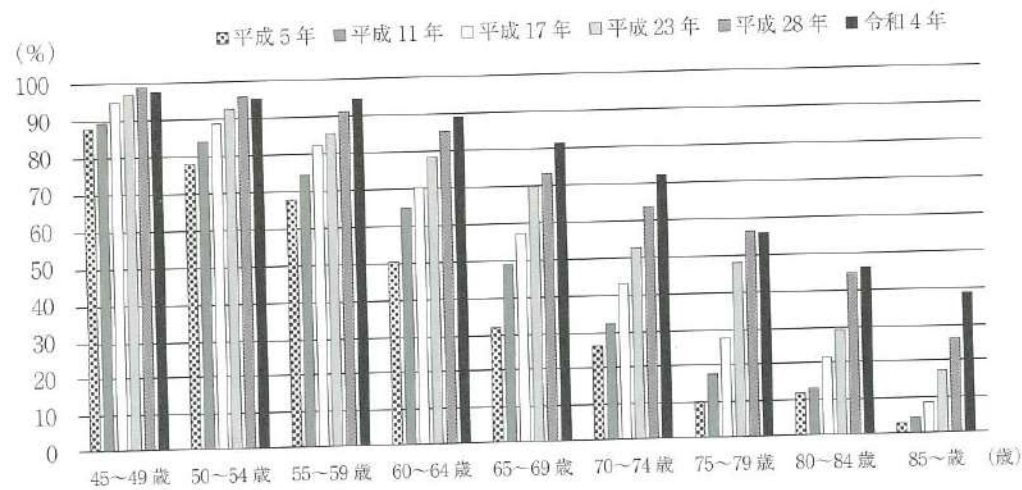
## 選択肢考察

- a 食物残渣はブラッシングだけでなく、強く洗口することでも除去できる。
- × b ペリクルは洗口やブラッシングでは除去できず、PMTC で除去可能である。ペリクルは除去しても唾液に触れるとすぐに形成される。
- × c 外来性色素は歯磨剤を用いたブラッシングで沈着を予防できるが、一旦、沈着した外来性色素はブラッシングでは除去が困難である。
- d マテリアアルバは歯の表面や歯肉辺縁部に付着している灰白色か黄色の物質であり、剝離上皮細胞、細菌などからなり、付着が弱いので、ブラッシングや洗口することで除去できる。

正解 a、d

DH 25:P 127

【問題 22】 歯科疾患実態調査のある項目の結果を図に示す。



この図が示すのはどれか。1つ選べ。

- a 喪失歯を有する者
- b 20歯以上の現在歯を有する者
- c 4mm以上の歯周ポケットを有する者
- d 永久歯の未処置歯または処置歯を保有する者

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a、× c、× d 喪失歯を有する者の割合、4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合、永久歯の未処置歯または処置歯を保有する者の割合は、高齢になるにつれ増加する。
- b 20歯以上の現在歯を有する者の割合は高齢になるにつれ減少するが、過去の調査と新しい調査と比較すると、各年代で増加傾向にある。
- 令和4年歯科疾患実態調査



正解 b

DH 25:P 151

【問題 23】 口臭の原因物質で糖尿病に由来するのはどれか。1つ選べ。

- a アセトン
- b インドール
- c メチルアミン
- d メチルメルカプタン

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a アセトンは糖尿病患者に特有の口臭の原因物質でケトン体由来する。
- × b インドールは揮発性窒素化合物で腐敗臭である。
- × c メチルアミンはトリメチルアミン尿症に特有な臭いで、いわゆる魚臭い状態(魚臭症)である。
- × d 口臭の主な原因物質は硫化水素、メチルメルカプタン、ジメチルサルファイドから構成される揮発性硫黄化合物で、その中でも硫化水素とメチルメルカプタンが多く、口臭の原因物質の90%を占める。

正解 a

DH 25:P 707

【問題 24】 労働安全衛生法に基づき、歯等に有害な業務に従事する労働者は歯科医師による健康診断が義務付けられている。

有害な業務の対象物質として法令に明記されているのはどれか。2つ選べ。

- a 塩酸
- b ベンゼン
- c カドミウム
- d フッ化水素

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a、○ d 塩酸、硝酸、硫酸、亜硫酸、フッ化水素、黄リン、その他、歯またはその支持組織に有害な物質のガス、蒸気、または粉じんを発生する場所における業務に従事する労働者に対し、事業者は6か月以内ごとに歯科医師による健康診断を行わなければならない。
- × b、× c ベンゼン、カドミウムは土壌汚染対策法により有害物質に定められているが、歯科特殊健康診断の対象物質には含まれない。

正解 a、d

DH 25:P 209

[問題 25] 13歳の男子。学校における定期健康診断(歯・口腔)の結果の一部を図に示す。

8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
		C													
上			E	D	C	B	A	A	B	C	D	E			上
下			E	D	C	B	A	A	B	C	D	E			下
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
		CO											O		

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 6]は未処置歯である。
- b 6]は要観察歯である。
- c 現在歯は  $\frac{6+6}{6+6}$  である。
- d 6]はシーラント処置歯である。

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a 6]はC(むし歯)であり、未処置歯である。
- b 6]はCO(要観察歯)である。
- × c 現在歯は  $\frac{7+7}{7+7}$  である。
- × d 6]はO(処置歯)である。記載の必要があれば、シーラント処置歯には⊙の補助記号を使用する。

正解 a, b

DH25:P155

[問題 26] カンピロバクターによる食中毒で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 潜伏期間は2~11日である。
- b 魚介類による発症例が多い。
- c 夏期より冬期に多発する食中毒である。
- d 菌が産生した腸管毒素によって発症する。

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 潜伏期間は2~11日と長い。
- × b 原因食品は主に畜肉で、特に鶏肉が感染源になりやすい。
- × c 季節性は特に認められない。
- × d カンピロバクターによる食中毒は感染型で、腸管内での菌の増殖によって発症する。

正解 a

DH25:P84

[問題 27] CPI(改定法)における歯周ポケットのコードと判定基準の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 1 —— 4~5mmに達するポケット
- b 2 —— 6mmを超えるポケット
- c 9 —— 該当する歯なし
- d X —— プロービングができない歯

▶口腔衛生学

選択肢考察

○ a, b 下表参照。

● CPIの判定基準(改定法)

	コード	所見	判定基準
歯肉出血	0	健全	以下の所見が認められない。 プロービング後10~30秒以内に出血が認められる。 プロービングができない歯(例:根の露出が根尖に及ぶ)
	1	出血あり	
	9	除外歯	
	X	該当する歯なし	
歯周ポケット	0	健全	以下の所見がすべて認められない。 プローブの黒い部分に歯肉縁が位置する。 プローブの黒い部分が見えなくなる。 プロービングができない歯(例:根の露出が根尖に及ぶ)
	1	4~5mmに達するポケット	
	2	6mmを超えるポケット	
	9	除外歯	
	X	該当する歯なし	

正解 a, b

DH25:P613

[問題 28] LeavellとClarkの疾病予防の概念におけるう蝕予防の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 特異的予防 —— 歯周ポケット測定
- b 機能喪失の防止 —— 栄養指導
- c 早期発見・早期治療 —— フッ化ジアミン銀の塗布
- d リハビリテーション —— 抜歯

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 歯周ポケット測定は、歯周病予防に対する第二次予防の早期発見・早期治療である。
- × b 栄養指導は第一次予防の健康増進(非特異的予防)である。
- c フッ化ジアミン銀の塗布は、う蝕の進行を防ぐ第二次予防の早期治療である。
- × d 抜歯は第二次予防の重症化の防止である。

正解 c

DH25:P144

【問題 29】 乳幼児の口腔清掃と開始時期の組合せで適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 歯ブラシに慣らす ————— 7~8 か月  
 b ブクブクうがい ————— 12 か月  
 c 就寝前の歯磨きの習慣化 ——— 24 か月  
 d 本人磨きの練習 ————— 48 か月

▶ 口腔衛生学

## 選択肢考察

- a 乳幼児期は哺乳期 (0~5 か月)、離乳初期 (5~6 か月)、離乳中期 (7~8 か月)、離乳後期 (9~11 か月)、離乳完了期 (12~18 か月) に分けられる。離乳期の口腔清掃は、まず口の中を触られることに慣れさせることから始める。離乳中期 (7~8 か月) は夜間の頻回の授乳を避けるようにし、歯ブラシに慣らす練習をする。  
 × b ブクブクうがいができるのは3歳以降である。  
 × c 12 か月頃に、就寝前の歯磨きの習慣化を開始する。  
 × d 18 か月頃から、子ども自身で磨く練習を開始する。

DH25:P735

正解 a

【問題 30】 歯磨剤の基本成分はどれか。2つ選べ。

- a グリセリン  
 b アルギン酸ナトリウム  
 c ポリリン酸ナトリウム  
 d アズレンスルホン酸ナトリウム

▶ 口腔衛生学

## 選択肢考察

- a グリセリンは湿潤剤であり、基本成分である。  
 ○ b アルギン酸ナトリウムは粘結剤であり、基本成分である。  
 × c ポリリン酸ナトリウムは歯石沈着を予防する薬用成分である。  
 × d アズレンスルホン酸ナトリウムは歯肉の炎症を抑える薬用成分である。

DH25:P131

正解 a, b

【問題 31】 新興感染症はどれか。2つ選べ。

- a 結核  
 b マラリア  
 c エボラ出血熱  
 d 新型コロナウイルス感染症

▶ 歯科衛生士概論

## 選択肢考察

- × a、× b 結核、マラリアは再興感染症である。  
 ○ c、○ d エボラ出血熱、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は新興感染症である。

正解 c, d

DH25:P166

## 要点

新興感染症とは、最近新しく認知され、局地的にあるいは国際的に公衆衛生上の問題となる感染症をいう。一方、結核やマラリアなどのように近い将来克服されると考えられていた旧来型の感染症が再び流行するものを再興感染症という。

## ● 主な新興感染症と再興感染症

- ・新興感染症：エイズ、エボラ出血熱、重症急性呼吸器症候群、新型コロナウイルス感染症
- ・再興感染症：マラリア、ペスト、結核、コレラ、ジフテリア

【問題 32】 母子保健法に基づいて市町村が実施するのはどれか。2つ選べ。

- a 3歳児健康診査  
 b 児童虐待への対策  
 c 母子健康手帳の交付  
 d 子ども・子育て支援給付

▶ 歯科衛生士概論

## 選択肢考察

- a 市町村は、1歳6か月児及び3歳児に対して健康診査を行わなければならないと規定されている。  
 × b 児童虐待への対策は「児童福祉法」、「児童虐待の防止等に関する法律」に盛り込まれている。  
 ○ c 市町村は、妊娠の届出をした者に対して、母子健康手帳を交付しなければならないと規定されている。  
 × d 子ども・子育て支援給付は「子ども・子育て支援法」に基づく制度である。

正解 a, c

DH25:P189

[問題 33] 針刺し事故防止対策で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 事故の当事者を対象にした研修を行う。
- b 使用済み注射針は専用容器に廃棄する。
- c 使用済み注射針のリキャップを習慣化する。
- d 事故発生時は針刺し部位に抗菌薬を塗布する。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a 事故の当事者だけでなく、医療機関全体で感染を管理する体制が必要である。
- b 使用済み注射針は感染性廃棄物であるため、専用容器に廃棄する。
- × c リキャップする際に針刺し事故が発生し得るため、習慣化は適切ではない。
- × d 事故発生時は、ただちに針刺し部位を流水と石けんで十分に洗浄する。

正解 b

DH 25:P 782

[問題 34] 眼瞼結膜に蒼白がみられた。  
この所見と関連するのはどれか。1つ選べ。

- a 血圧
- b 血小板数
- c 白血球数
- d ヘモグロビン値

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- × a 血圧は眼瞼結膜の所見と直接関連がない。
- × b、× c 血小板数の減少は出血傾向の、白血球数の減少は易感染性や発熱の原因となる。
- d 眼瞼結膜は結膜のうち、眼瞼の裏側を覆う部分である。眼瞼結膜の色調の所見により、特定の疾患を推定することができる。眼瞼結膜が蒼白の場合は貧血を疑う。貧血ではヘモグロビン(血色素)が減少しているため、眼瞼結膜や顔面が蒼白になる。

正解 d

要点集 341:P 21

[問題 35] エックス線撮影法と観察対象の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 咬合法 ————— 根管長確認
- b 咬翼法 ————— 根尖病巣
- c 二等分法 ————— 唾石
- d パノラマエックス線撮影 ——— 埋伏歯

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- × a 咬合法は顎下腺唾石や顎骨の頬舌の変化の観察に適している。
- × b 咬翼法は隣接面う蝕や歯槽骨の吸収状態など、歯冠部と歯頸部付近の観察に適している。
- × c 二等分法は歯の根尖付近の観察に適している。画像上の歯の長さは実際の歯とほぼ同じ長さになるため、根管長の確認にも利用できる。
- d パノラマエックス線撮影は埋伏歯や広範囲の顎骨内病変の観察に適している。

正解 d

DH 25:P 264

[問題 36] 額に貼付したセンサーの写真(別冊午後 No. 3)を別に示す。

評価するのはどれか。1つ選べ。

- a 血圧
- b 体温
- c 脳波
- d 動脈血酸素飽和度

▶ 臨床歯科総論

No. 3



選択肢考察

- × a、× b、× d 血圧は血圧計、体温は体温計、動脈血酸素飽和度はパルスオキシメータで評価する。
- c 写真は BIS モニタの電極である。脳波モニタであり、全身麻酔時などに麻酔深度を客観的に評価する。

正解 c

[問題 37] 6歳の男児。歯の打撲を主訴として来院した。30分前に公園で転倒し、上顎部を強打したという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 4)を別に示す。

診査と評価事項の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 問診 ——— 受傷状況の聴取
- b 視診 ——— 歯根破折の確認
- c 触診 ——— 受傷範囲の確認
- d 打診 ——— 歯の動揺度判定

▶ 臨床歯科総論

No. 4



選択肢考察

- a、○ c 小児の外傷の場合、問診で受傷状況を十分に聴取し、触診で受傷範囲を確認する。身体に重度の外傷を受けている場合、まずは医科の診察を受けてもらい、全身状態が落ち着いた段階で初めて歯の外傷の処置を行うこともある。
- × b 歯根破折や歯の嵌入の程度はエックス線撮影を行い確認する。
- × d 歯の動揺度は疼痛に配慮し、触診で確認する。外傷の程度によっては触診で歯が脱臼する可能性があるため、注意を要する。

正解 a、c

DH 25:P 477

【問題 38】 感染根管治療の適応となるのはどれか。2つ選べ。

- a 菌髄壊死
- b 菌髄壊疽
- c 可逆性菌髄炎
- d 不可逆性菌髄炎

▶ 歯内療法学

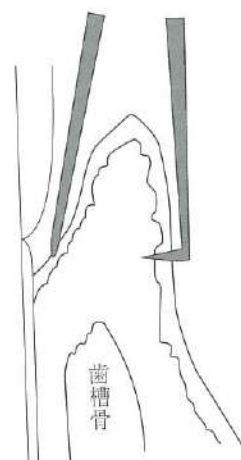
選択肢考察

○ a、b 菌髄疾患は治療法により可逆性菌髄炎（菌髄保存療法への適応）、不可逆性菌髄炎（抜髄法の適応）、菌髄壊死（感染根管治療の適応）に分類できる。可逆性菌髄炎には菌髄充血と初期の急性単純性（漿液性）菌髄炎が該当し、不可逆性菌髄炎にはその他の菌髄炎と歯の内部吸収が該当する。菌髄壊疽は腐敗菌の感染により腐敗臭を伴う菌髄壊死を指す。

正解 a、b

DH 25:P306

【問題 39】 歯周外科治療中の手技の模式図を示す。



この手技の目的はどれか。1つ選べ。

- a 炎症程度の把握
- b 骨吸収程度の記録
- c 歯肉の厚みの測定
- d ポケット底位置の記録

▶ 歯周治療学

選択肢考察

- × a 炎症程度の把握は視診、触診、プロービング時の出血の有無で行う。
- × b 骨吸収程度を記録するにはボーンサウンディングを行う。通常、浸潤麻酔下で浸麻針など鋭利な先端の器具を骨面にあたるまで挿入し、骨吸収の状態を把握する。
- × c 歯肉結合組織移植術を行う場合、供給側である口蓋側歯肉の厚みが3mm以上必要であるため歯肉の厚みを測定するが、浸潤麻酔下で細いリーマーなどを利用することが多い。
- d 模式図はクレーンカプランのポケットマーカーでポケット底の位置を印記している。

正解 d

DH 25:P829

【問題 40】 26歳の男性。上顎右側犬歯から上顎左側犬歯までの前歯部の変色を主訴として来院した。上顎前歯部はすべて生活歯であり、変色程度はFeinman 1度である。漂白処置を行うことになった。処置中の口腔内写真（別冊午後 No. 5）を別に示す。

治療後の注意として患者に説明するのはどれか。2つ選べ。

- a 外部吸収
- b 歯冠破折
- c 知覚過敏
- d 色調の後戻り

▶ 保存修復学

選択肢考察

- × a 無髄歯の漂白法では、漂白剤が象牙細管を介して歯根膜を刺激した際に歯根が吸収され、外部吸収が生じることがある。
- × b 漂白処置により歯冠破折が起こることは考えられない。
- c 生活歯の漂白処置では知覚過敏が発症することがある。生活歯の漂白は診療所で行うオフィスブリーチと患者が自宅で行うホームブリーチがある。着色が弱く、縞模様が見られないFeinmanの1度と2度の症例が適応症である。
- d 漂白処置が終了した後、一定期間経過後に色調の後戻りを起こすことがある。

No. 5



正解 c、d

DH 25:P302

【問題 41】 38歳の男性。下顎右側臼歯部の違和感を主訴として来院した。1週前に顔面皮膚に腫脹が生じ、押すと膿が出るという。自発痛を認めない。検査の結果、6の慢性化膿性根尖性歯周炎と診断され、感染根管治療が行われることになった。排膿を認める部位を示す顔面皮膚の写真（別冊午後 No. 6）を別に示す。

①の名称はどれか。1つ選べ。

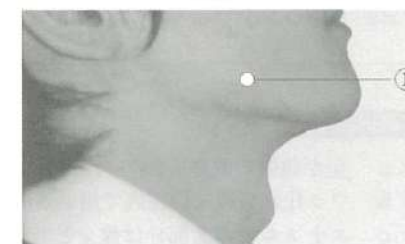
- a 外歯瘻
- b 内歯瘻
- c エプーリス
- d エプスタイン真珠

▶ 歯内療法学

選択肢考察

- a 根尖病巣の膿を体外に排出するために体表面に形成された出口を瘻孔といい、口腔内に開口したものを内歯瘻、①のように顔面皮膚に開口したものを外歯瘻という。原因となる根尖性歯周炎が治癒すると瘻孔は閉鎖する。

No. 6



正解 a

DH 25:P304

【問題 42】 53歳の男性。歯肉の異常を訴え来院した。全身的には糖尿病、高血圧、狭心症があり、それぞれに投薬を受けているという。上顎臼歯部側面観の口腔内写真(別冊午後 No. 7 A)と同口蓋側面観の口腔内写真(別冊午後 No. 7 B)を別に示す。

この患者の歯肉異常に関与する薬剤はどれか。1つ選べ。

- a インスリン
- b ニフェジピン
- c フェニトイン
- d ニトログリセリン

▶ 歯周治療学

No. 7 A



B



## 選択肢考察

- × a インスリンは膵臓から分泌されるホルモンで、血糖値を低下させる作用がある。糖尿病治療薬として用いられるが、歯肉増殖の副作用はない。
- b ニフェジピンはカルシウム拮抗薬で、高血圧症の治療に用いられる。副作用として歯肉増殖症があり、歯口清掃指導を行うとともに、徹底したプラークコントロールが必要となる。歯科医師が担当医師に相談し、使用薬物の変更を検討する場合もある。
- × c フェニトインは抗てんかん薬で、歯肉増殖症の副作用をもつが、本症例はてんかん患者ではない。
- × d ニトログリセリンは狭心症治療薬である。歯肉増殖症の副作用はない。

正解 b

📖 要点集 341:P65

【問題 43】 70歳の男性。上顎右側第二小臼歯の清掃時の違和感を主訴として来院した。1年前から気付いていたが痛みがないのでそのままにしていたという。歯髄電気診で正常反応を示した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 8)を別に示す。

考えられる処置はどれか。1つ選べ。

- a 抜髄
- b フッ化水素酸塗布
- c ラミネートベニア装着
- d コンポジットレジン修復

▶ 保存修復学

No. 8



📖 DH 25:P 291

## 選択肢考察

- × a 5が抜髄の適応(不可逆性歯髄炎)とは考えられない。
- × b フッ化水素酸を口腔内で用いるのは禁忌である。
- × c エナメル質の大部分は健全と考えられるため、ラミネートベニアを適用すべきではない。
- d 5のくさび状欠損が違和感の原因と考えられるため、コンポジットレジン修復を行うのが適切である。

正解 d

【問題 44】 15歳の男子。上顎前歯の歯冠破折を主訴として来院した。1時間前に受傷し、口での呼吸で強い痛みがあるという。1の動揺は生理的範囲内である。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 9 A)とエックス線画像(別冊午後 No. 9 B)を別に示す。

考えられる処置はどれか。1つ選べ。

- a 抜髄
- b 直接覆髄法
- c 感染根管治療
- d アペキソゲネーシス

▶ 歯内療法学

No. 9 A



B



## 選択肢考察

- a 歯髄は外傷により大きく露髄しており、抜髄の適応である。
- × b 露髄面が大きいため、直接覆髄法の適応ではない。
- × c 歯髄は生活歯であり、感染根管治療の適応症ではない。
- × d 年長的に歯根完成しておりアペキソゲネーシスの適応ではない。

正解 a

📖 DH 25:P 310

【問題 45】 無歯顎様顔貌の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 薄い赤唇
- b 浅い鼻唇溝
- c 口角の下垂
- d 明瞭な人中

▶ 歯科補綴学

## 選択肢考察

- a 口唇の緊張が低下し垂れ下がるため、赤唇は薄く直線的になる。
- × b リップサポートが欠如するため、鼻唇溝は深くなる。
- c 咬合高径の低下に伴い口角が下垂するとともに、放射状の皺が寄る。
- × d リップサポートが欠如するため、人中は不明瞭となる。

正解 a, c

📖 DH 25:P 381

[問題 46] 50歳の女性。上顎右側臼歯部欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。欠損部にインプラント体を埋入し、最終補綴装置を装着することになった。治療過程の順に並べた写真(別冊午後No.10 A、B、C)を別に示す。

矢印で示す装置はどれか。1つ選べ。

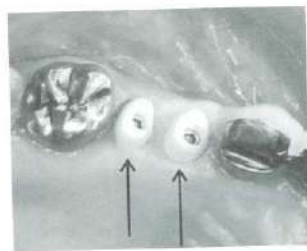
- a アバットメント
- b 印象用コーピング
- c カバースクリュー
- d インプラントアナログ

▶ 歯科補綴学

No.10 A



B



C



選択肢考察

- a 矢印で示す装置はアバットメントである。インプラント体と連結され支台部となるもので、アバットメントの上に上部構造が装着される。
- × b、× d 印象用コーピングは、埋入したインプラント体の位置を模型に再現するための部品である。インプラント体に印象用コーピングを連結した状態で印象採得を行い、印象体に移行した印象用コーピングにインプラントアナログ(模型内部でインプラント体の代用となる部品)を連結して石膏を注入し、作業用模型を製作する。
- × c カバースクリューは一次手術において、埋入したインプラント体に装着するものである。

正解 a

DH25:P405

[問題 47] 65歳の女性。上顎左側臼歯部欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、上顎部分床義歯を製作することになった。完成した義歯の写真(別冊午後No.11)を別に示す。隣接面板はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科補綴学

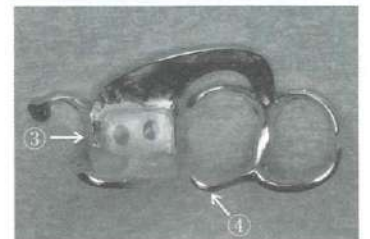
選択肢考察

- × a ①はレストである。義歯の沈下防止を担う。
- × b、× d ②、④はアーム(鉤腕)である。義歯の離脱防止を担う。
- c ③は隣接面板である。欠損部に隣接する支台歯と接触する義歯の部位であり、義歯の着脱方向の規制や横揺れ防止を担う。

正解 c

DH25:P392

No.11



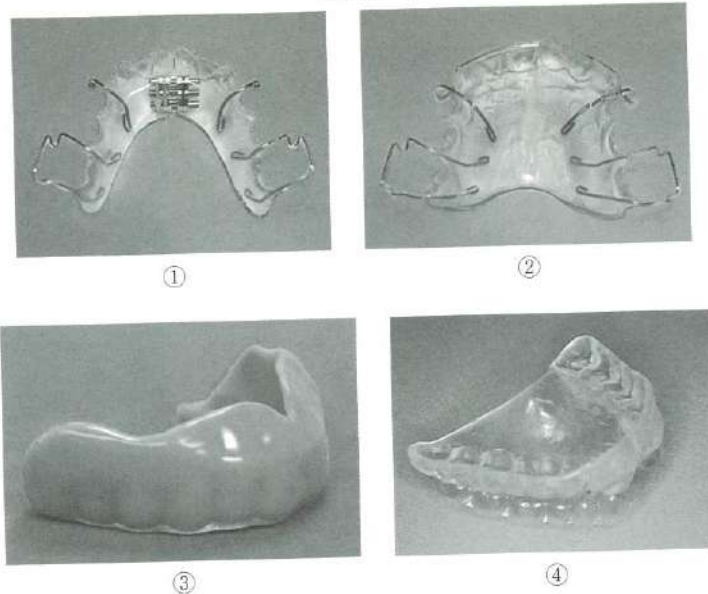
[問題 48] 16歳の男子。外傷予防のため口腔内装置の製作を希望して来院した。高校の部活動でラグビー部に所属しているという。装置の写真(別冊午後 No.12)を別に示す。

製作すると考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶ 歯科補綴学

No.12



選択肢考察

- × a ①は緩徐拡大装置で、スクリュータイプの拡大床である。  
× b ②は床矯正装置である。  
○ c ③はスポーツマウスガードである。ラグビー、ボクシング、アメリカンフットボール、ラクロスなどのスポーツでは、外傷予防のため競技中の装着が義務づけられている。  
× d ④は閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS: obstructive sleep apnea syndrome)の治療に用いる口腔内装置である。

正解 c

[問題 49] 79歳の男性。下顎右側の激痛と下唇の知覚鈍麻を主訴として来院した。3か月前から同部の疼痛を自覚していたが最近さらに増強してきたという。3年前に前立腺癌で加療を受けている。検査の結果、前立腺癌の顎骨への転移が認められた。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.13)を別に示す。

QOLを考慮した緩和治療はどれか。1つ選べ。

- a 抜歯  
b 抗菌薬投与  
c 下顎骨切除術  
d 麻薬性鎮痛薬投与

▶ 口腔外科学

No.13



選択肢考察

- × a 抜歯という外科的侵襲を加えることは、痛みをさらに増すことになる。また、癌を更に別の部位へ転移させる危険性もある。  
× b 感染症ではないため、抗菌薬投与で激痛は軽快しない。  
× c 下顎骨切除は侵襲が大きく術後の疼痛も大きくなる。また術後の咀嚼、嚥下機能にも障害をきたす。  
○ d 緩和治療は根治的治療を行わず、症状を和らげることを目的に行う治療である。激痛が痛の転移による痛みであるため、麻薬性鎮痛薬投与が適切である。

正解 d

DH25:P745

[問題 50] 帯状疱疹ウイルスが関与するのはどれか。1つ選べ。

- a Ramsay Hunt(ラムゼーハント)症候群  
b Peutz-Jeghers(ポイツ・ジェガース)症候群  
c Plummer-Vinson(プランマー・ビンソン)症候群  
d McCune-Albright(マッキューン・オルブライト)症候群

▶ 口腔外科学

選択肢考察

- a 帯状疱疹ウイルスによる感染が、顔面神経運動神経線維に波及し生じるものをRamsay Hunt(ラムゼーハント)症候群という。末梢性顔面神経麻痺、難聴、耳鳴りなどを呈する。  
× b Peutz-Jeghers(ポイツ・ジェガース)症候群は口腔粘膜、皮膚の黒色または褐色の色素沈着と消化管の多発性ポリープ(ポリポシス)を特徴とする疾患で、小腸の大きなポリープは癌化する可能性がある。  
× c Plummer-Vinson(プランマー・ビンソン)症候群は鉄欠乏性貧血で発症する。口腔症状は舌乳頭の萎縮による平滑舌などを呈する。スプーン爪、嚥下困難などを呈することもある。  
× d McCune-Albright(マッキューン・オルブライト)症候群は多骨性の線維性骨異形成症、皮膚の色素沈着、思春期早発(二次性徴の早発)を3主徴とする疾患で、口腔粘膜にも色素沈着を認めることがある。

正解 a

DH25:P408

【問題 51】 36歳の男性。口腔粘膜の接触痛を主訴として来院した。10か月前から口蓋に水疱ができるようになり、擦ると粘膜の表面が剥がれるという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.14)を別に示す。

発症と関係すると考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 細菌
- b 真菌
- c ウイルス
- d 自己抗体

▶口腔外科学

No.14



DH25:P417

選択肢考察

- d 病理組織検査による確定診断が必要であるが、水疱形成や機械的刺激による粘膜表層の剝離(ニコルスキー現象)がみられることから、**天疱瘡**や**類天疱瘡**が疑われる。天疱瘡、類天疱瘡は口腔粘膜や皮膚に生じる水疱とびらんを特徴とする、自己免疫性水疱性疾患である。

正解 d

【問題 52】 交叉咬合の原因となるのはどれか。2つ選べ。

- a 吸唇癖
- b 口呼吸
- c 舌突出癖
- d 母指吸引癖

▶矯正歯科学

選択肢考察

- × a 吸唇癖は口唇を吸う癖である。下唇を吸うものが多く、この場合は**上顎前歯の唇側傾斜**、**下顎前歯の舌側傾斜**、**開咬**などの原因となる。
- b 交叉咬合を引き起こす原因として**上顎歯列弓の狭窄**があげられる。口呼吸で低位舌と頬筋の緊張により上顎歯列が狭窄を起こすと、交叉咬合の原因となる。
- × c 舌突出癖は上下顎前歯の間に舌尖を突き出す口腔習癖で、**開咬**の原因となることがある。
- d 母指吸引癖は親指をくわえ吸引する癖である。頬筋が緊張し上顎歯列が狭窄すると、交叉咬合の原因となる。

正解 b、d

DH25:P435

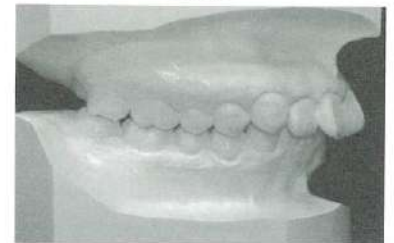
【問題 53】 口腔模型の写真(別冊午後 No.15)を別に示す。

Angleの不正咬合の分類はどれか。1つ選べ。

- a I級
- b II級1類
- c II級2類
- d III級

▶矯正歯科学

No.15



選択肢考察

- b 上顎第一大臼歯近心頬側咬頭は、下顎第一大臼歯頬側面溝よりも近心に位置しており、下顎の遠心咬合である。また、上顎前歯は唇側傾斜しているため、Angle II級1類となる。

正解 b

DH25:P443

要点

Angleの不正咬合の分類は、上顎第一大臼歯を基準としている。上顎第一大臼歯近心頬側咬頭内斜面が、下顎第一大臼歯頬側面溝に接している状態を正常とする。

● Angleの不正咬合の分類

Angle I級：上下顎第一大臼歯の近遠心関係に異常はないが、前歯部に叢生や正中離開などがみられるもの。

Angle II級：下顎歯列弓が上顎歯列弓に対して、正常より遠心に位置しているもの(下顎遠心咬合)。

1類：口呼吸に関連した上顎前歯の唇側傾斜

2類：鼻呼吸で上顎前歯は直立(舌側傾斜)

Angle III級：下顎歯列弓が上顎歯列弓に対して、正常より近心に位置しているもの(下顎近心咬合)。

【問題 54】 矯正装置の写真(別冊午後 No.16)を別に示す。

期待できる効果はどれか。2つ選べ。

- a 吸唇癖の除去
- b 下顎骨の成長抑制
- c 下顎前歯の唇側傾斜
- d オーバーバイトの増加

▶矯正歯科学

No.16



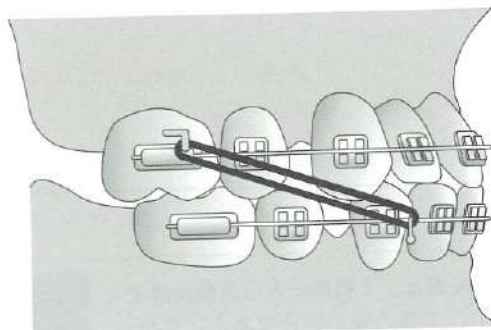
選択肢考察

- a、○ c 写真は**リップバンパー**である。主目的は**吸唇癖**、**咬唇癖**の除去・防止である。リップバンパーにより、歯の唇側から加わる力が減少し、舌による唇側への圧力が優位になり下顎前歯が唇側傾斜する。
- × b、× d 下顎骨の成長抑制、オーバーバイトの増加はリップバンパーの効果ではない。

正解 a、c

DH25:P433

〔問題 55〕 矯正歯科治療中の図を示す。



顎間ゴムの種類はどれか。1つ選べ。

- a II級ゴム
- b III級ゴム
- c 垂直ゴム
- d 交叉ゴム

▶矯正歯科学

選択肢考察

- × a II級ゴムは上顎前突症例に用い、下顎大白歯から上顎犬歯にかける。
- b III級ゴムは下顎前突症例に用い、上顎大白歯から下顎犬歯にかける。図の顎間ゴムは上顎大白歯と下顎犬歯間に装着されているため、III級ゴムである。
- × c 垂直ゴムは上下歯列間に垂直にかけ、咬合の緊密化をはかる。
- × d 交叉ゴムは交叉咬合症例に用い、咬合面を越えて斜めにかける。

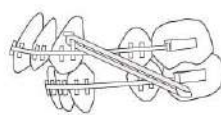
正解 b

DH 25:P 458

要点

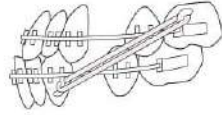
顎間ゴムは上下顎にまたがって装着するもので、II級ゴム、III級ゴム、交叉ゴム、垂直ゴムがある。

● 顎間ゴムの種類



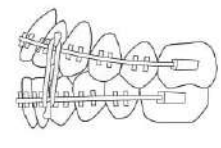
II級ゴム

上顎前突症例に用い、下顎大白歯部から上顎犬歯部にかける。



III級ゴム

下顎前突症例に用い、上顎大白歯部から下顎犬歯部にかける。



垂直ゴム

上下歯列間に垂直にかけ、咬合の緊密化を図る。



交叉ゴム

交叉咬合症例に用い、咬合面を越えて斜めにかける。

〔問題 56〕 発育期の分類とその特徴との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 乳児期 —— 歩行開始
- b 幼児期 —— 自我の芽生え
- c 学童期 —— 第一次反抗期
- d 思春期 —— 第二次的徴

▶小児歯科学

選択肢考察

- × a 歩行開始は15か月頃(幼児期)である。
- b 自我の芽生える第一次反抗期は3~4歳頃(幼児期)で、自己主張が強くなる時期である。
- × c 第一次反抗期は幼児期にみられる。
- d 学童期から思春期への移行は、身体的には第二次的徴として現れる。女子では初潮、乳房の発育、恥毛の発生がみられ、男子では外性器の発達、変声、恥毛や体毛の発生がみられる。

正解 b、d

DH 25:P 464

要点

● 年齢を基準とした発育期の分類

- ① 出生前期(胎生期): 0(受精)~280日(出生)
- ② 新生児期: 出生~4週
- ③ 乳児期: 1~12月
- ④ 幼児期: 1~6年
- ⑤ 学童期: 6~12年
- ⑥ 思春期: 男子(12~20年)、女子(10~18年)

〔問題 57〕 11歳の男児。上顎右側第一小白歯の変色を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.17)を別に示す。

原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 茶の常飲
- b 先天性梅毒
- c 先行乳歯の根尖病変
- d フッ化物の過剰摂取

▶小児歯科学

選択肢考察

- × a お茶の常飲による歯の着色は、全顎的に広範囲に生じる。
- × b 先天性梅毒では、上顎中切歯の切縁に半月状切痕を生じるハッチンソン歯や白歯部咬頭の形成不全によるフルニエ歯が生じる。
- c 口腔内写真から4の近心面に変色がみられる。1歯に局限した異常であるため、全身的原因や遺伝性疾患ではなく、先行乳歯の根尖病変を原因とした変色(ターナー歯)と考えられる。
- × d フッ化物の過剰摂取による歯のフッ素症は広範囲に生じる。

正解 c

No.17



要点集 341:P 46

【問題 58】 摂食嚥下リハビリテーションにおける頭部挙上訓練により機能回復が期待できる筋はどれか。2つ選べ。

- a 咬筋
- b 顎舌骨筋
- c 茎突舌筋
- d 顎二腹筋前腹

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- × a 咬筋は舌骨上筋群ではないため、頭部挙上訓練による機能回復は期待できない。
- b、○ d 頭部挙上訓練により舌骨上筋群の機能回復が期待できる。顎舌骨筋、顎二腹筋前腹は舌骨上筋群である。
- × c 茎突舌筋は舌骨上筋群ではないため、頭部挙上訓練による機能回復は期待できない。

正解 b, d

📖 要点集341:P7

【問題 59】 85歳の男性。摂食嚥下障害を主訴として、訪問歯科診療の依頼があった。半年の間に10%の体重減少を示し、歩行は困難である。患者の舌上には食物残渣がみられる。かかりつけの医科大学でサルコペニアと診断されているという。訪問時の下肢の写真(別冊午後No.18)を別に示す。

適切と考えられる対応はどれか。2つ選べ。

- a 栄養改善
- b 義歯調整
- c 安静の徹底
- d 筋機能訓練

▶高齢者・障害者歯科学

No.18



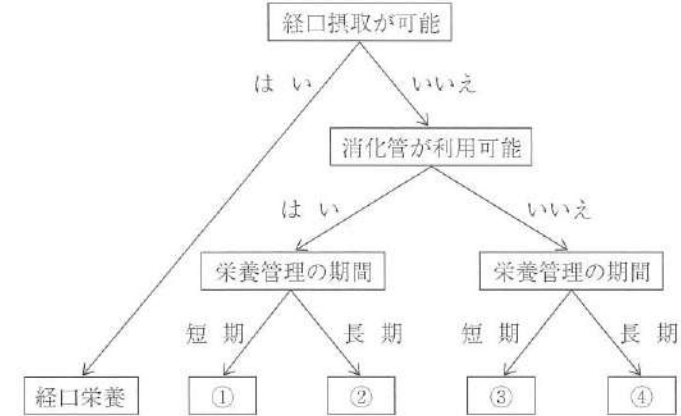
選択肢考察

- a 半年間で10%の体重減少を示しており、低栄養状態と考えられるため、栄養摂取を改善するのは適切である。
- × b 摂食嚥下障害の原因が義歯であれば義歯調整は適切だが、本症例の患者が義歯装着者かどうか判断できない。
- × c サルコペニアと診断されており、写真からも骨格筋量が低下していると考えられる。過度な安静は身体機能の低下を更に助長するため、適切ではない。四肢体幹の運動を促し、離床の機会を増やすことは嚥下機能の維持につながる。
- d 摂食嚥下障害に対して筋機能訓練を行うのは適切である。

正解 a, d

📖 DH25:P486

【問題 60】 栄養投与経路を選択する際のフローチャートを示す。



②はどれか。1つ選べ。

- a 胃・腸瘻栄養
- b 経鼻経管栄養
- c 中心静脈栄養
- d 末梢静脈栄養

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- a、× b 胃・腸瘻栄養は②、経鼻経管栄養は①に該当する。①と②は経口摂取困難だが消化管が利用可能であり、経腸栄養法を選択する。①は栄養管理の期間が短期であり、経鼻経管栄養を選択する。一方、②は栄養管理の期間が長期であり、胃・腸瘻栄養を選択する。
- × c、× d 中心静脈栄養は④、末梢静脈栄養は③に該当する。③と④は経口摂取困難かつ消化管が利用困難であり、静脈栄養法を選択する。③は栄養管理の期間が短期であり、末梢静脈栄養を選択する。一方、④は栄養管理の期間が長期であり、中心静脈栄養を選択する。

正解 a

📖 DH25:P581

【問題 61】 Barthel Index の表を示す。

	自立	部分介助	全介助
食事	10	5	0
移乗	15	5~10	0
①	5	0	0
トイレ	10	5	0
入浴	5	0	0
歩行	15	10	0
階段昇降	10	5	0
更衣	10	5	0
便失禁	10	5	0
尿失禁	10	5	0

① はどれか。1つ選べ。

- a 洗濯
- b 買物
- c 整容
- d 服薬

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- × a、× b、× d 洗濯、買物、服薬は IADL の評価項目である。
- c 整容は Barthel Index における ADL 評価項目である。

正解 c

DH 25:P 495

要点

Barthel Index は ADL 評価法で、食事、移乗、整容、トイレ動作、入浴、歩行、階段昇降、更衣、排便コントロール、排尿コントロールの 10 項目を、自立、部分介助、全介助の 3 段階で評価する。

◎ 日常生活動作 (ADL)

ADL の状況	動作	判定基準		
		a	b	c
ADL の状況	1) 動作	a 時間がかかっても介助なしで歩く	b 手を貸してもらうなど一部介助を要する	c 全面的に介助を要する
	2) 食事	a やや時間がかかっても介助なしに食事する	b おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する	c 全面的に介助を要する
	3) 排泄	a やや時間がかかっても介助なしに一人で行える	b 便座に座らせてもらうなど一部介助を要する	c 全面的に介助を要する
	4) 入浴	a やや時間がかかっても介助なしに一人で行える	b 体を洗ってもらうなど一部介助を要する	c 全面的に介助を要する
	5) 着替え	a やや時間がかかっても介助なしに一人で行える	b ぞでを通してもらうなど一部介助を要する	c 全面的に介助を要する
	6) 整容	a 時間がかかっても介助なしに自由に行える	b タオルで顔を洗ってもらうなど一部介助を要する	c 全面的に介助を要する
	7) 意思疎通	a 完全に通じる	b ある程度通じる	c ほとんど通じない

【問題 62】 68 歳の男性。食事に時間がかかることを主訴として来院した。6 か月前に脳梗塞を発症したという。プリンを用いてフードテストを行った後の口腔内写真 (別冊午後 No.19) を別に示す。疑われるのはどれか。1つ選べ。

- a 咬合力の低下
- b 咬合接触の不良
- c 口唇閉鎖の不良
- d 舌運動機能の低下

▶高齢者・障害者歯科学 No.19



選択肢考察

- × a 脳梗塞の既往から、咬合力も低下している可能性も考えられるが、口腔内写真からは判断することはできない。
- × b、× c 口腔内写真から咬合接触の不良、口唇閉鎖の不良は判断できない。
- d 口腔内写真から、口蓋部にプリンの残留が認められる。脳梗塞後の後遺症により、舌の食塊形成能と咽頭への送り込みの能力、つまり舌運動機能の低下が疑われる。舌運動機能の低下が食事時間の延長の原因となっている可能性が高く、舌接触補助床 (PAP) を併用すると効果的であると考えられる。

正解 d

DH 25:P 542

要点

フードテストは茶さじ 1 杯 (約 4g) のプリンを摂食させ摂食嚥下障害を評価するスクリーニングテストであり、主に食塊形成能と咽頭への送り込みの能力を評価するために用いられる。口腔内写真より、プリンの口腔内残留が認められるため、フードテストは 3 点である。

【問題 63】 歯科予防処置はどれか。1つ選べ。

- a ブローピング
- b 機械的歯面清掃
- c ブラッシング指導
- d ルートプレーニング

▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a ブローピングはポケット深さを測定する行為であり、“処置”ではない。
- b 機械的歯面清掃とは、スケーラーや歯面研磨器具などの器械・器具を用いて行う歯科予防処置である。
- × c ブラークコントロールによって歯面の付着物を除去することは可能であるが、歯科予防処置には含まれない。
- × d ルートプレーニングは病的セメント質の除去と根面の滑沢化を目的として、歯科診療の補助として行われる。

正解 b

DH 25:P 585

【問題 64】 60歳の女性。下顎前歯部の歯根面露出と知覚過敏を訴えて来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.20)を別に示す。

使用すると考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a フッ化物洗口剤
- b フッ化ジアンミン銀
- c フッ化物バーニッシュ
- d フッ化物徐放性シーラント

▶ 歯科予防処置

No.20



選択肢考察

- × a フッ化物洗口剤は乳歯や幼若永久歯に効果的である。
- × b フッ化ジアンミン銀は乳歯う蝕の進行抑制や知覚過敏症に使用される。
- c フッ化物バーニッシュは、高濃度のフッ化物をできるだけ歯面に付着・停滞させる目的で粘着性をもつ。象牙質表層へのフッ化物取り込み、フッ化カルシウムの生成、象牙細管の狭窄と閉塞による知覚過敏の鈍麻の作用がある。
- × d シーラントは萌出後間もない歯に適応する。

正解 c

DH 25:P 279

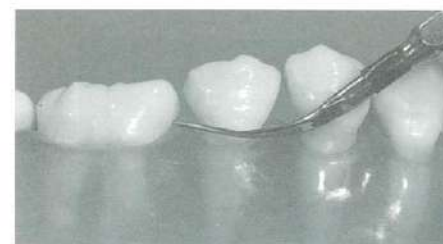
【問題 65】 下顎第一大臼歯頬側面に超音波スケーラーを使用している写真(別冊午後 No.21)を別に示す。

適切な操作角度はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置

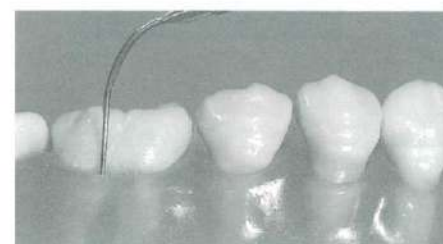
No.21



①



②



③



④

選択肢考察

- × a ①は先端が歯面に直角に当たっているため、適切ではない。
- × b ②はインサートチップを歯石除去面に垂直に当てているため、適切ではない。
- c ③はインサートチップ側面を当てており適切である。超音波スケーラーのチップ先端は、歯面に対して垂直に当てず、歯面を傷つけないように側面を使う。
- × d ④はインサートチップの側面を当てているが、上方すぎるため適切ではない。

正解 c

DH 25:P 628

[問題 66] う蝕発症における宿主要因はどれか。2つ選べ。

- a 歯質の耐酸性
- b 唾液の緩衝能
- c う蝕原因菌の数
- d 含糖食品の摂取頻度

▶ 歯科予防処置

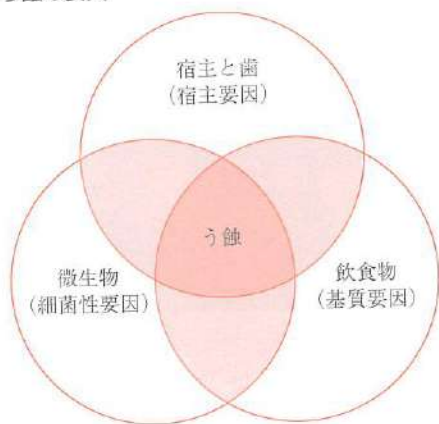
選択肢考察

- a、○ b う蝕の発症には**個体(宿主)**、**細菌**、**基質**の3要因と**時間**が関与する。宿主要因とは自分自身の要因であり、唾液や歯の性状である。
- × c う蝕原因菌の数は**細菌性要因**である。
- × d 含糖食品の摂取頻度は**基質要因**である。

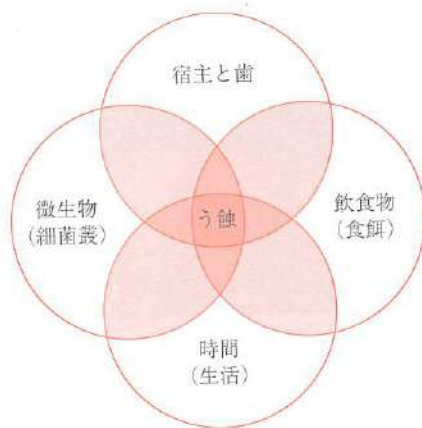
正解 a、b

要点

● う蝕の要因



Keyes の 3 つの輪



Newbrun の 4 つの輪

📖 DH25:P141

[問題 67] 侵襲性歯周炎の原因菌はどれか。1つ選べ。

- a *Prevotella intermedia*
- b *Fusobacterium nucleatum*
- c *Porphyromonas gingivalis*
- d *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a *Prevotella intermedia* は偏性嫌気性グラム陰性桿菌で、**妊娠関連歯肉炎**の原因菌である。
- × b *Fusobacterium nucleatum* は偏性嫌気性グラム陰性桿菌で、**壊死性潰瘍性歯肉炎・歯周炎**で検出される。
- × c *Porphyromonas gingivalis* は歯肉溝から検出される偏性嫌気性グラム陰性桿菌で、**慢性歯周炎**の主要原因細菌の1つである。
- d *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* は通性嫌気性グラム陰性桿菌で、**侵襲性歯周炎**の原因菌である。

正解 d

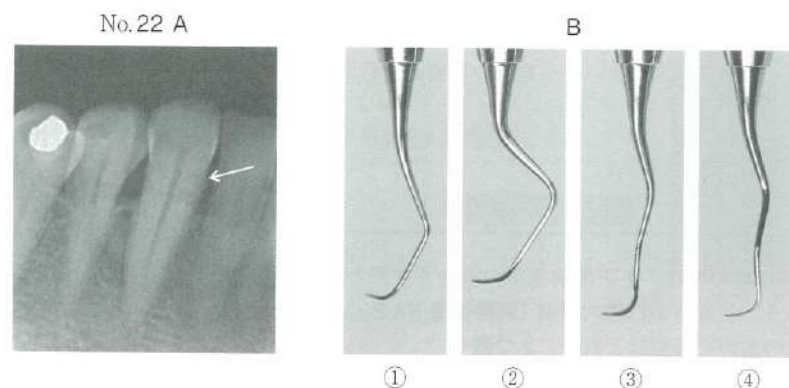
📖 要点集 341:P35

[問題 68] 46歳の男性。下顎右側前歯部歯肉からの出血を主訴として来院した。歯周組織検査後、SRPを行うよう歯科医師から指示を受けた。エックス線画像(別冊午後 No.22 A)とグレーシータイプキュレットの写真(別冊午後 No.22 B)を別に示す。

矢印で示した歯石除去に適しているのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置



選択肢考察

- a 矢印は③近心の歯石である。①の#3/4は前歯部のすべての歯面に使用する。
- × b ②は#9/10である。臼歯部の頬側面・舌側面に使用する。
- × c ③は#11/12である。臼歯部の近心面および近心方向の隣接歯間部に使用する。
- × d ④は#13/14である。臼歯部の遠心面および遠心方向の隣接歯間部に使用する。

正解 a

📖 DH25:P621

[問題 69] 歯周病原細菌により引き起こされる可能性があるのはどれか。2つ選べ。

- a 菌血症
- b 自臭症
- c 糖尿病
- d 骨粗鬆症

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 菌血症とは、細菌感染巣から細菌が血液中に流出している状態をいう。SRPなどの観血処置や日常のブラッシングでも菌血症になる場合もあり、日頃から良好な口腔衛生環境を維持することが重要である。
- × b 自臭症とは、問題がないにも関わらず、自分が臭いと周りの人に迷惑をかけているのではないかと思ひ込み、思ひ悩むことである。
- c 歯周病原性菌はインスリンの作用を減弱させるため糖尿病を悪化させることが知られており、歯周病は糖尿病のリスクファクターである。歯周治療によって歯周病原性菌の活性を低下させると糖尿病を改善させることが期待される。
- × d 骨粗鬆症を有する歯周病患者は、有しない歯周病患者と比較して病態が悪化する傾向があり、骨粗鬆症は歯周病のリスクファクターとして考えられているが、歯周病原性細菌によって骨粗鬆症が発症するものではない。

正解 a、c

📖 要点集 341:P35

【問題 70】 シャープニングの目的はどれか。2つ選べ。

- a 刃部の形態を変える。
- b 患者の不快感を軽減する。
- c スケーラーの摩耗を防ぐ。
- d 鋭利なカッティングエッジを作る。

▶ 歯科予防処置

## 選択肢考察

- × a、○ b、○ d シャープニングはスケーラー刃部の形態を変えずに、鋭利なカッティングエッジを得るために行う。鋭利なスケーラーを使用することで操作がより正確になり、操作時間の短縮や術者の疲労、患者へ与える不快感の軽減などの利点がある。
- × c スケーラーの摩耗は、スケーラー自体の材質の特性であり、シャープニングで防ぐことはできない。

正解 b、d

DH 25:P633

【問題 71】 60歳の男性。上下顎前歯部の着色を主訴として来院した。1日10本の喫煙を40年続けているという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.23)を別に示す。

この患者の歯肉の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 出血傾向
- b 浮腫性の腫脹
- c 歯肉組織の線維化
- d メラニン色素の沈着

▶ 歯科予防処置

No.23



DH 25:P343

## 選択肢考察

- × a 喫煙により毛細血管が収縮するため、歯肉からの出血は少ない。
- × b 喫煙者の歯肉は浮腫性ではなく線維性の腫脹がみられる。
- c、○ d 長期的な喫煙習慣により、歯肉循環血液量の低下や免疫力の低下、さらには組織再生能力も低下する。臨床的な喫煙者の口腔内の特徴は歯面の着色、歯肉の黒色化(メラニン色素沈着)、口臭、歯肉の線維性肥厚、味覚低下などである。

正解 c、d

【問題 72】 厚生労働省のガイドラインで定めるフッ化物洗口開始の対象年齢はどれか。1つ選べ。

- a 3歳
- b 4歳
- c 5歳
- d 6歳

▶ 歯科予防処置

## 選択肢考察

- b フッ化物洗口法は、特に4歳から14歳までの期間に実施することがう蝕予防対策として最も大きな効果をもたらすことが示されている。

正解 b

DH 25:P665

【問題 73】 エックス線画像(別冊午後 No.24)を別に示す。

観察できるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯石沈着
- b 根管充填
- c 隣接面う蝕
- d 歯槽骨吸収

▶ 歯科予防処置

No.24



## 選択肢考察

- a 6| 遠心根に歯石を疑う不透過像が観察できる。
- × b 根管充填材はエックス線不透過像である。この画像では観察できない。
- × c 隣接面う蝕を思わせる透過像は観察できない。
- d 6| 近心根に垂直性骨吸収、遠心根に水平性骨吸収が観察できる。

正解 a、d

DH 25:P603

【問題 74】 水平位にてスケーリングを行う場合、術者の目と患者の口腔までの距離で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 10~15cm
- b 25~35cm
- c 50~60cm
- d 70~80cm

▶ 歯科予防処置

## 選択肢考察

- b ● 適切な術者の姿勢
  - ・作業点は身体の中央にもってくる。
  - ・視線は垂線と20~30°を成すようにする。
  - ・明視の距離は25~35cmとる。
  - ・両足が完全に床に着地するようにスツールの高さを調節する。

正解 b

DH 25:P785

[問題 75] PMTC に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯ブラシ
- b スケーラー
- c フッ化物配合研磨材
- d エアタービンハンドピース

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 歯ブラシは用いない。
- × b、○ c PMTC (プロフェッショナル メカニカル ツールズ クリーニング) は、「熟練した歯科医師・歯科衛生士が、機械的清掃器具 (エバチップハンドピースとフッ化物入りペースト) を用いて、歯間隣接面も含めすべての歯面からプラークを機械的に選択除去する方法」である。原則として、スケーリングやルートプレーニングは含まれない。
- × d マイクロモーターを使用する。

正解 c

DH 25:P636

[問題 76] RD テスト®の結果の写真 (別冊午後 No.25) を別に示す。

結果の説明で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 歯の質がやや弱い。
- b 唾液の分泌量が少なめです。
- c 歯ぐきに炎症があるようです。
- d むし歯の原因菌が多いと思われます。

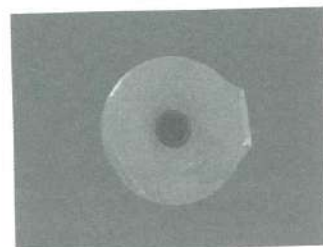
▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a、× b、× c RD テスト®は歯質の耐酸性や唾液分泌量、歯肉炎の有無を評価するものではない。
- d 写真からディスクがピンク色を呈している。ピンク色は唾液中の細菌数が多い状態である。

正解 d

DH 25:P652



要点

RD テスト®は、唾液中のグラム陽性菌、特に *Streptococci* や *Lactobacilli* など腐原性菌のレサズリン試薬に対する還元作用に基づく色調変化を利用した試験法である。15分という短い反応時間で判定が可能で、標準比色表と対比し、RD の色調変化を目視判定する。

- 青色 → Low: 唾液中の細菌数が 106 未満
- 紫色 → Middle: 唾液中の細菌数が 106~107 程度
- ピンク色 → High: 唾液中の細菌数が 108 以上

[問題 77] 10歳の女児。フッ化物歯面塗布を希望して保護者と来院した。歯科医師よりフッ化ナトリウムゲルによるフッ化物歯面塗布を実施するよう指示があった。初診時の口腔内写真 (別冊午後 No.26) を別に示す。

用いるフッ化ナトリウムゲルの量はどれか。1つ選べ。

- a 2mL
- b 3mL
- c 4mL
- d 5mL

▶ 歯科予防処置

No.26



選択肢考察

- a フッ化物歯面塗布法に用いる溶液やゲルの使用量は 2mL (2g) 以下である。

正解 a

DH 25:P661

[問題 78] 小児の口腔管理で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 食生活指導が含まれる。
- b 精神発達状態を考慮する。
- c 積極的に抑制具を使用する。
- d 5歳まで保護者が仕上げ磨きを行う。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 食生活指導には、プラーク形成の抑制によってう蝕を予防する目的がある。
- b 小児の身体的・精神的発育には個人差が大きく、生育環境によっても情緒の発達は異なる。小児の年齢による平均的な発育や行動特徴を理解した上で、口腔管理を行う。
- × c 抑制具は意思疎通の図りにくい低年齢児や障害児で、歯科治療がどうしても必要な場合に、保護者と相談した上で使用する。積極的に使用するものではない。
- × d 成長とともに小児自身でブラッシングを行うようになるが、口腔清掃が不十分なことが多いため、小学校低学年である 6~8 歳頃までは保護者による仕上げ磨きを続ける。

正解 a、b

DH 25:P738

【問題 79】 医療面接で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 患者の訴えをよく聴く。
- b 専門用語を多く用いる。
- c 一度に多くの情報を与える。
- d 理解できたかどうかを確認する。

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- a 患者の訴えを十分に聴くことが医療面接で重要なことである。
- × b 患者にわかりやすく説明するために、専門用語はできるだけ避けることが望ましい。
- × c 一度に多くの情報を与えると混乱することがあるため、患者の状態をみながら適切な量を与えることが望ましい。
- d 説明したことが患者に適切に理解されたかを確認することは、医療事故の防止にもなる。

正解 a、d

DH 25:P 251

【問題 80】 喫煙に対して厚生労働省の設定した目標はどれか。1つ選べ。

- a 公共喫煙所の閉鎖
- b 医療従事者の喫煙率の減少
- c 後期高齢者の喫煙率の減少
- d 受動喫煙の機会を有する者の割合の減少

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- d 厚生労働省が健康日本 21 (第二次) において設定した、喫煙に対する目標は以下の通りである。
  - ① 成人の喫煙率の減少 (喫煙をやめたい者がやめる)
  - ② 未成年者の喫煙をなくす
  - ③ 妊娠中の喫煙をなくす
  - ④ 受動喫煙の機会を有する者の割合の減少

正解 d

DH 25:P 700

【問題 81】 妊産婦の栄養管理で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ビタミン C を多く含む食品を摂取する。
- b 妊娠初期はビタミン A を積極的に摂取する。
- c 妊娠高血圧症候群予防のため塩分摂取を控える。
- d 妊娠後期は必要エネルギー量が非妊娠時より 50kcal 増加する。

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- a 妊娠時は鉄などの吸収促進作用のあるビタミン C を多く含む食品や、造血に必要な葉酸、ビタミン B<sub>6</sub>、B<sub>12</sub> を多く摂取する。
- × b 妊娠初期に継続的にビタミン A の大量摂取を行うと、先天奇形の高リスクとなる。
- c 妊娠高血圧症候群予防のため塩分摂取は控える。
- × d 妊娠後期は必要エネルギー量が非妊娠時より 450kcal 増加する。

正解 a、c

DH 25:P 730

【問題 82】 幼稚園で 4 歳児 20 名の集団に対して歯科保健指導を実施することになった。実施計画の項目と内容との組合せで適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 現状把握 —— 歯科健康診断結果
- b 指導方法 —— 60 分の講話
- c 使用媒体 —— ペープサート
- d 指導内容 —— デンタルフロスの使用方法

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- a 集団に対する歯科保健指導では、事前に行われた歯科健康診断結果をもとに現状を把握し、指導内容を決定する。
- × b 幼稚園児に 60 分の講話は長すぎる。幼稚園児は理解力や集中力に乏しいため、長時間の指導は避ける。
- c ペープサートとは、人物や動物などの登場人物を描いた紙に割り箸などの棒をつけたものを動かして演じる紙人形劇のことである。幼稚園児に適した歯科保健指導方法である。
- × d 幼稚園児にデンタルフロスの使用は難しい。

正解 a、c

DH 25:P 731

【問題 83】 NCDs に該当するのはどれか。2つ選べ。

- a 糖尿病
- b 慢性閉塞性肺疾患
- c 筋萎縮性側索硬化症
- d 重症急性呼吸器症候群

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- a、○ b 糖尿病、慢性閉塞性肺疾患 (COPD: Chronic Obstructive Pulmonary Disease) は NCDs に該当する。
- × c 筋萎縮性側索硬化症は進行性の神経変形性疾患である。
- × d 重症急性呼吸器症候群は SARS ウイルスによる感染性疾患である。

正解 a、b

DH 25:P 642

## 要点

循環器系疾患、がん、呼吸器系疾患、糖尿病などの総称を非感染性疾患 (NCDs: Non-Communicable Diseases) という。不健康な食事、運動不足、喫煙、過度な飲酒などを原因とし、WHO の定義では生活習慣の改善により予防可能な疾患と位置づけている。日本では「生活習慣病」という疾患名で表される。

【問題 84】 87歳の男性。5年前から認知症が悪化し、施設に入居して全介助であるという。施設職員からよくむせることを主訴として歯科訪問診療を依頼された。食事はおかゆと刻んだおかずを食べているという。誤嚥性肺炎はこれまで発症していない。食後の義歯の写真(別冊午後 No.27)を別に示す。

最初に行う対応はどれか。1つ選べ。

- a 禁食の指示
- b 義歯のリベース
- c 食物残渣の確認
- d RSSTによる嚥下評価

▶ 歯科保健指導

No.27



DH25:P512

選択肢考察

- × a 禁食の必要はない。
- × b リベース(改床法)は人工歯部分だけを残し、義歯床部分を全部新製する方法である。義歯の適合状態や咬合状態を確認した上で判断する。
- c 食後の義歯の写真から、粘膜面に多量の食物残渣が認められる。まずは義歯の適合性の確認と食物残渣の確認を行い、今後の対応を考える。
- × d 嚥下障害があるわけではなく、RSSTによる嚥下評価は優先項目ではない。

正解 c

次の文を読み、【問題 85】、【問題 86】に答えよ。

9歳の女児。定期健康診査を希望して来院した。歯科保健指導を行うにあたり、2色性の歯垢染色剤を用いて染め出した。染め出し後の口腔内写真(別冊午後 No.28)を別に示す。

【問題 85】 唇面に古いプラークが最も多く観察されるのはどれか。1つ選べ。

- a 上顎左側中切歯
- b 上顎左側側切歯
- c 下顎左側中切歯
- d 下顎左側側切歯

【問題 86】 この女児へ指導する適切な口腔清掃法はどれか。2つ選べ。

- a バス改良法
- b チャーターズ法
- c スクラビング法
- d 1歯ずつの縦磨き法

▶ 歯科保健指導

No.28



選択肢考察

【問題 85】

- b 2色性歯垢染色剤は、新しいプラークは赤く染色され、古いプラークは青く染色される。青く染色されている部分が最も多いのは、上顎左側側切歯である。

【問題 86】

- × a バス改良法は、歯に対して歯ブラシの毛先を45度の角度にあて、毛先を歯周ポケットの中に入れ、前後に4~5回振動させた後、歯の面の方へブラシを回す方法である。バス法よりも複雑であり、9歳児には困難である。
- × b チャーターズ法は、歯ブラシの脇腹を使ったブラッシング法で、主として歯肉マッサージ効果を期待するものである。操作も複雑であり、目的や年齢から不適當である。
- c 9歳児では、まだ複雑な操作が必要なブラッシング法は難しく、比較的簡単なブラッシング法を選択する。スクラビング法は、歯ブラシを歯面に直角にあて、同時に辺縁歯肉にも軽く接触させ圧迫振動を加えるブラッシング方法である。操作が容易で、歯頸部、歯間部、咬合面のプラーク除去効果も高く、9歳児でも可能なブラッシング法である。
- d 1歯ずつの縦磨き法は、歯間空隙が大きい場合や、歯列不正、細かい操作が困難な場合に有効である。切端で咬合させ、毛先を歯面に直角にあて、上下に動かしながら1歯ずつ磨いていく。9歳児でも可能なブラッシング法である。

正解 【問題 85】 b  
【問題 86】 c、d

DH25:P696

【問題 87】「健康な高齢者の加齢による物忘れ」と「アルツハイマー型認知症の高齢者の物忘れ」との特徴を比較した表を示す。

	健康な高齢者	アルツハイマー型認知症の高齢者
①	体験の全体を忘れる	体験の一部を忘れる
②	物忘れを自覚している	物忘れの自覚に乏しい
③	作り話はみられない	しばしば作り話がみられる
④	ヒントがあっても思い出せない	ヒントがあれば思い出せる

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

○ b, c 要点 参照

正解 b, c

DH 25:P498

要点

認知症による物忘れは体験のすべてを忘れるのに対して、加齢による物忘れでは体験の一部を忘れる点  
が異なり、この点が基本的な相違点である。

● 健康な高齢者の加齢による物忘れとアルツハイマー型認知症の物忘れの違い

加齢による物忘れ	アルツハイマー型認知症の物忘れ
体験の一部分を忘れる	体験の全部を忘れる
ヒントがあれば思い出せる	ヒントがあっても思い出せない
記銘力低下が主で、想起障害は目立たない	記銘力障害とともに想起障害もみられる
物忘れを自覚している	物忘れの自覚に乏しい
探し物も努力して見つけようとする	探し物も誰かが盗ったということがある
見当識障害はみられない	見当識障害がみられる
作り話はみられない	しばしば作り話がみられる
日常生活に支障はない	日常生活に支障をきたす
きわめて徐々にしか進行しない	進行性である

【問題 88】「歯を丈夫で健康にする食品」と表示できるのはどれか。1つ選べ。

- a 特別用途食品  
b 栄養機能食品  
c 健康補助食品  
d 特定保健用食品

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 特別用途食品は、乳児の発育や、妊産婦、病者等の健康の保持・回復などに適するという特別の用途について表示を行うものである。  
× b 栄養機能食品は、健康の維持等に必要栄養成分(ミネラル、ビタミン)の補給を主な目的として摂取する人に対して、特定の栄養成分を含むものとして、定められた基準に従ってその栄養成分について機能の表示をしている食品である。  
× c 健康補助食品は国が規定したものではなく、健康の保持・増進および健康管理の目的のために摂取される、いわゆる健康食品である。  
○ d 特定保健用食品(トクホ)は、特定の保健の目的が期待できることを表示した食品であり、身体の生理学的機能などに影響を与える保健機能成分を含んでいる。



特別用途食品



特定保健用食品

正解 d

DH 25:P719

要点

特定保健用食品は、個々の製品ごとに消費者庁長官の許可を受けており、保健の効果(許可表示内容)を表示することのできる食品である。

● 表示許可項目(一部)

- おなかの調子を整える食品
  - オリゴ糖類を含む食品
  - 乳酸菌類を含む食品
  - 食物繊維類を含む食品
- コレステロールが高めの方の食品
- 血圧が高めの方の食品
- ミネラルの吸収を助ける食品
- 骨の健康が気になる方の食品
- むし歯の原因になりにくい食品と歯を丈夫で健康にする食品
- 血糖値が気になり始めた方の食品
- 血中中性脂肪や体脂肪が気になる方の食品
- 肌が乾燥しがちな方の食品

【問題 89】 フレイルの診断項目に含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a 握力
- b 体重
- c 血圧
- d 口腔衛生状態

▶ 歯科保健指導

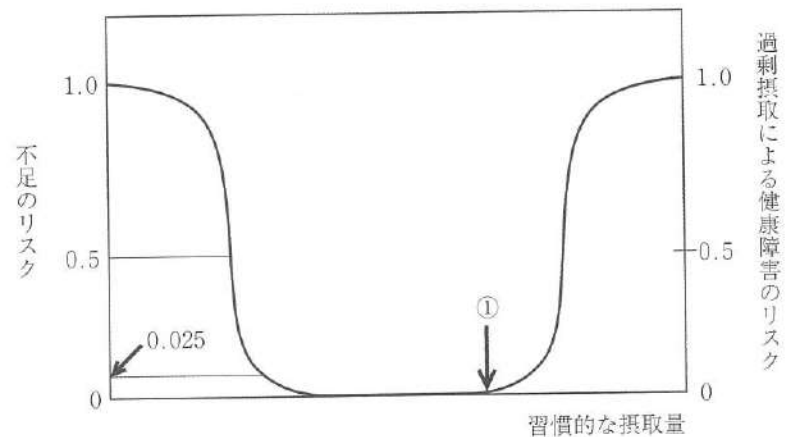
選択肢考察

○ a、b フレイルの診断項目には筋力低下(握力)、体重減少(体重)、疲労感・主観的疲労感(易疲労)、歩行速度、身体活動(日常生活活動量)がある。

正解 a、b

DH25:P487

【問題 90】 日本人の食事摂取基準で定められた指標の概念図を示す。



①に該当する摂取量が定められているのはどれか。2つ選べ。

- a ビタミンA
- b ビタミンB<sub>1</sub>
- c ビタミンC
- d ビタミンD

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

○ a、d 図の①が示すのは耐容上限量である。耐容上限量は、この値を超えて摂取した場合、過剰摂取による健康障害が発生するリスクがゼロではなくなることを示すものである。日本人の食事摂取基準で耐容上限量が設定されているビタミンは、ビタミンA、D、E、B<sub>6</sub>、ナイアシン、葉酸である。

正解 a、d

DH25:P715

【問題 91】 高水準消毒薬はどれか。1つ選べ。

- a グルタラール
- b 消毒用エタノール
- c 次亜塩素酸ナトリウム
- d ベンザルコニウム塩化物

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

○ a グルタラールは高水準消毒薬である。  
 × b、× c 消毒用エタノール、次亜塩素酸ナトリウムは中水準消毒薬である。  
 × d ベンザルコニウム塩化物は低水準消毒薬である。

正解 a

DH25:P788

【問題 92】 始業前の点検で、歯科用ユニット付属の无影灯は点灯し、スピットンの洗浄水は流れたが、エアスケーラーが作動しなかった。

確認するのはどれか。2つ選べ。

- a 排水トラップ
- b メインスイッチ
- c エアコンプレッサー
- d フットコントローラー

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

× a 洗浄水が流れたため、排水トラップには異常はない。  
 × b 无影灯は点灯したため、メインスイッチには異常はない。  
 ○ c、○ d 无影灯は点灯したためメインスイッチはONの状態であるが、エアスケーラーが作動しないため、作動に必要なエアコンプレッサーやフットコントローラーがOFFの状態である。圧搾空気を作るエアコンプレッサーと、エアスケーラーを作動させるフットコントローラーを確認する。

正解 c、d

DH25:P785

【問題 93】 歯科用レーザーの写真(別冊午後 No.29)を別に示す。  
適切な用途はどれか。1つ選べ。

- a 止血
- b 歯の切削
- c う蝕の検出
- d 軟組織の切開

選択肢考察

- × a 止血に適するのは Nd:YAG (ネオジウムヤグ) レーザーである。
- × b 歯の切削に適するのは Er:YAG (エルビウムヤグ) レーザーである。
- c 写真はレーザー蛍光強度測定器である。半導体レーザーを歯質に照射し、不顕性う蝕を検出する。
- × d 軟組織の切開に適するのは CO<sub>2</sub> (炭酸ガス) レーザーや Er:YAG レーザーである。

正解 c

▶ 歯科診療補助

No.29



☞ DH25:P285

【問題 94】 試適時に変形した矯正材料の写真(別冊午後 No.30)を別に示す。  
形態の修正に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a バンドシーター
- b バンドプッシャー
- c バンドリムービングブライヤー
- d バンドコンタリングブライヤー

選択肢考察

- × a バンドシーターは、バンドの辺縁上に置き、患者に噛んでもらい適合をよくするための器具である。
- × b バンドプッシャーは、サイズの合ったバンドを歯間部に挿入するための器具である。
- × c バンドリムービングブライヤーは、バンドの撤去に用いる器具である。
- d 写真は矯正用バンドを示している。バンドの形態修整には、形態修整用ブライヤーであるバンドコンタリングブライヤーを用いる。コンタリング (contouring) とは外形、輪郭を意味する。

正解 d

▶ 歯科診療補助

No.30



☞ DH25:P881

【問題 95】 歯周外科治療に使用する器具の写真(別冊午後 No.31)を別に示す。  
使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 保護膜の把持
- b 替刃メスの着脱
- c 炎症性肉芽組織の除去
- d 歯周ポケット底の印記

選択肢考察

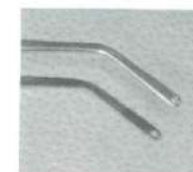
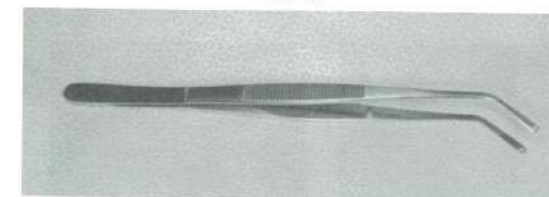
- a 写真はコーンのブライヤーである。GTR 法施術の際、GTR 膜 (保護膜) の固定・把持に用いられる。
- × b 替刃メスの着脱には鉗子やブレードリムーバーを用いる。
- × c 炎症性肉芽組織の除去にはキュレットや鋭匙ピンセットを用いる。
- × d 歯周ポケット底の印記にはクレーンカプランのポケットマーカーを用いる。

正解 a

☞ DH25:P355

▶ 歯科診療補助

No.31



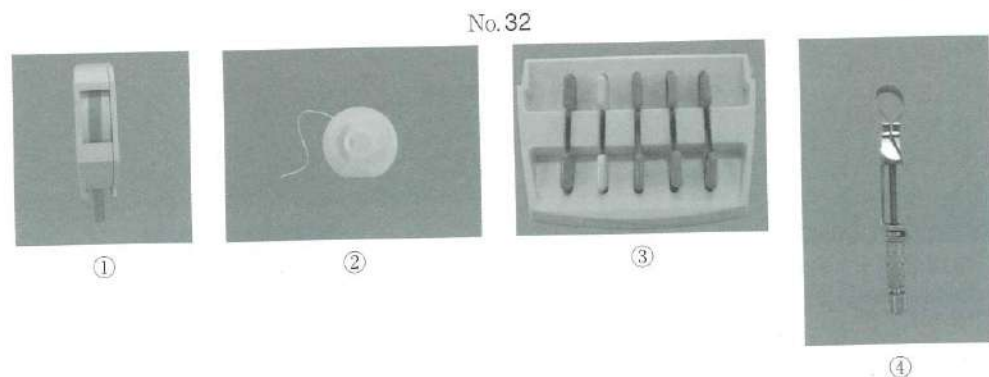
(先端の拡大図)

〔問題 96〕 40歳の女性。奥歯に物が挟まることを主訴として来院した。器材の写真(別冊午後 No.32)を別に示す。

検査に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助



選択肢考察

- × a ①はストリップスである。ストリップスは隣接面の研磨に用いられる。
- b ②はデンタルフロスである。歯間隣接面への挿入圧で接触状態を確認でき、う蝕が存在する場合には抵抗感がある。
- c ③はコンタクトゲージである。50 $\mu$ m(緑)が抵抗をもって挿入され、110 $\mu$ m(黄)が挿入されないのが理想である。
- × d ④はトッフルマイヤーのリテーナーとマトリックスバンドである。2級複雑窩洞の隔壁に使用する。

正解 b、c

DH25:P836

〔問題 97〕 印象採得時における嘔吐反射への対応はどれか。2つ選べ。

- a 口呼吸
- b 表面麻酔
- c 不安軽減
- d 頭部後傾姿勢

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a トレーを口腔内に挿入する前に鼻で深呼吸し、挿入後も鼻呼吸を続けるよう説明するとよい。
- b 必要に応じて口蓋に表面麻酔薬を塗布する。
- c 患者に治療の必要性と手順を説明することで、不安を軽減する。また、確実に効率的な手順で患者の口腔内を丁寧に扱えば、信頼を得ることが可能である。
- × d 頭部後傾姿勢は咽頭方向に印象材が流れやすいため適切ではない。

正解 b、c

DH25:P800

要点

印象採得時の嘔吐反射(異常絞扼反射)は、患者の体位を座位にすることや表面麻酔を事前に行うことで抑制するが、印象採得中に生じた場合には鼻で呼吸させたり、頭部を前屈させるなどの処置を講じる。この他に、トレーに印象材を盛り過ぎず、まずは下顎の印象採得を先に行い、上顎のトレーは後方から徐々に前方に圧接すると、軟口蓋への刺激を抑制できる。

〔問題 98〕 右側顎下部蜂窩織炎に対する切開排膿術の術前と術中の写真(別冊午後 No.33)を別に示す。

矢印で示す留置物の目的はどれか。1つ選べ。

- a 止血
- b 鎮痛
- c 膿汁排出
- d 感染防止

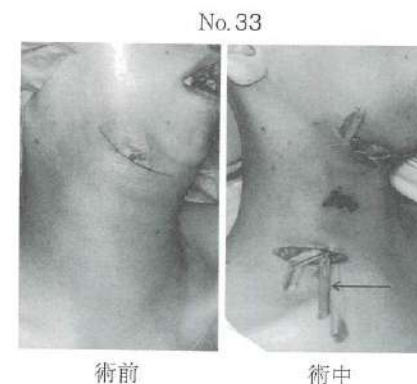
▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 切開後の止血にはガーゼなどを用いる。
- × b 切開後の鎮痛には非ステロイド性抗炎症薬などを用いる。
- c 写真で示すのはドレーンで、切開した創からの持続的な排膿を目的に留置する。
- × d 感染防止には抗菌薬などを用いる。

正解 c

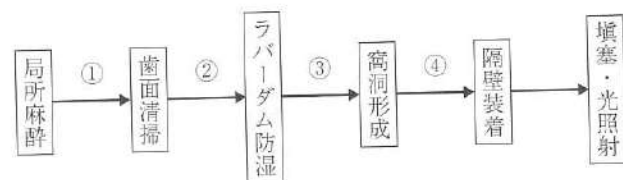
DH25:P426



術前

術中

【問題 99】 4級コンポジットレジン修復に使用する器具の写真(別冊午後 No.34)を別に示す。一連の治療過程を図に示す。



この器具を使用する時期はどれか。1つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶ 歯科診療補助

No.34



DH 25:P808

選択肢考察

- × a 写真の器具はシェードガイドである。歯面清掃によって歯面に付着した汚染や着色を除去するが、歯面清掃に先立ってシェードを選択することはない。  
○ b ラバーダムの装着に先立ち、湿潤状態の歯面に適合するシェードを選択する。  
× c、× d ラバーダムを装着後にシェードテイキングを行うことはできない。

正解 b

【問題 100】 歯科衛生士と5歳児の処置後の会話の一部を示す。  
歯科衛生士：「今日で5回目だけどよく頑張ったね。スタンプが5個貯まったから好きなおもちゃと交換できるよ」

患 児：「え〜。いいの〜？どのおもちゃにしようかな」

下線部に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a モデリング法  
b TEACCH法  
c Tell Show Do法  
d トークンエコノミー法

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a モデリング法は、模倣学習させたりビデオをみせたり、上手に治療されている子を見学させる方法である。  
× b TEACCH法は自閉スペクトラム症児のための治療プログラムである。治療の前に視覚的素材を用いて順序立てて説明し、歯科治療の流れを理解させる。  
× c Tell Show Do法はこれから行うことについて話して、見せて、行うという手順で体験させる方法であり、初めて歯科治療を経験する小児や恐怖心の強い小児に効果的である。  
○ d トークンエコノミー法は、正の強化因子(シール、玩具、ほめる、微笑む、など)を与え、負の強化因子(身体の拘束、叱責、無視(反応しない、待つ)、孤立させる、など)を除去する方法である。

正解 d

DH 25:P868

【問題 101】 外科用器具の写真(別冊午後 No.35)を別に示す。

使用目的はどれか。2つ選べ。

- a 止血  
b 搔爬  
c 把持  
d 抜歯

選択肢考察

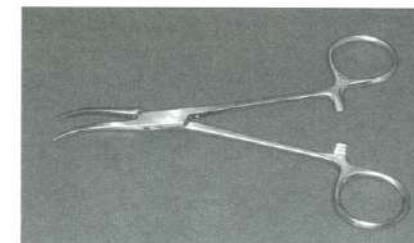
- a、○ c 写真の器具は止血鉗子である。出血している血管あるいは軟組織を把持し、止血するための鉗子である。  
× b 搔爬には鏡匙を用いる。  
× d 抜歯には抜歯鉗子や抜歯挺子(ヘーベル)を用いる。

正解 a、c

DH 25:P848

▶ 歯科診療補助

No.35



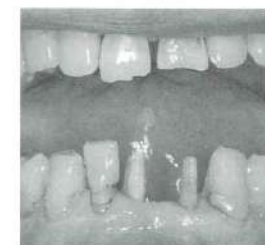
【問題 102】 65歳の男性。下顎前歯部のブリッジ製作を希望して来院した。最終補綴装置の形態確認のため、プロビジョナルレストレーションを製作することになった。支台歯形成後の口腔内写真(別冊午後 No.36 A、B)を別に示す。

この症例におけるプロビジョナルレストレーションの目的はどれか。2つ選べ。

- a 歯肉圧排  
b 審美性の回復  
c 支台歯の平行性の確認  
d 最終補綴装置のシェードの指針

▶ 歯科診療補助

No.36 A



B



選択肢考察

- a 歯肉が支台歯を覆うことを防ぐために使用する。  
○ b 前歯部であるため審美性回復のために使用する。  
× c 支台歯の平行性の確認は口腔内で平行測定器を使用する。  
× d シェードはシェードガイドを用いて決定する。

正解 a、b

DH 25:P398

要点

プロビジョナルレストレーションの目的は、1) 歯髄の保護、2) 歯質の保護、3) 歯周組織の保護、4) 歯列の保全(支台歯、隣接歯、対合歯の移動防止)、5) 咀嚼・発音機能の回復、6) 審美性の回復、7) 最終補綴装置の設計などである。

[問題 103] 口内法エックス線撮影時の写真(別冊午後 No.37)を別に示す。  
使用しているセンサーの特徴はどれか。1つ選べ。

- a 即時の画像処理が可能である。
- b フィルムよりもセンサーが薄い。
- c フィルムよりもセンサーが大きい。
- d センサーはイメージングプレートである。

▶ 歯科診療補助

No.37



## 選択肢考察

- a デジタル撮影に用いる口内法用エックス線センサーは、**CCD**や**CMOS**とよばれる**固体半導体センサー**と、**イメージングプレート(IP)**によるものに大別できる。写真は固体半導体センサーによる口内法エックス線撮影である。即時の画像処理が可能で、撮影後すぐに画像がディスプレイ上に表示される。
- × b、× c フィルムに比べセンサーは厚く、やや小さい。
- × d イメージングプレートにはセンサーケーブルがないため、固体半導体センサーに比べて画像処理に数十秒程度を要する。

正解 a

DH 25:P 262

[問題 104] 仰臥位低血圧症候群の原因はどれか。2つ選べ。

- a 心拍出量の増加
- b 下大静脈の圧迫
- c 血管迷走神経反射
- d 腹部大動脈の圧迫

▶ 歯科診療補助

## 選択肢考察

- × a 胎児の血流を確保するため、妊婦は循環血液量が多く心拍出量も増加するが、仰臥位低血圧症候群の原因ではない。
- b、○ d 妊娠後期の妊婦を仰臥位にすると子宮が下大静脈を圧迫し、右心房への静脈還流が減少して血圧が低下することで、仰臥位低血圧症候群が起こる。また、腹部大動脈の圧迫も起こり、直接的に子宮胎盤血流量が減少する。左側臥位にすることで、下大静脈と腹部大動脈の圧迫が解除され回復する。
- × c 妊婦は初期から後期を通じて精神的に不安定になりやすく、血管迷走神経反射や過換気症候群を起こしやすいが、直接的に仰臥位低血圧症候群を発症させることはない。

正解 b、d

DH 25:P 862

[問題 105] 55歳の男性。下顎左側臼歯部の咀嚼困難を主訴として来院した。検査の結果、下顎左側第一大臼歯の欠損に対しブリッジを製作することになった。製作したブリッジの写真(別冊午後 No.38 A)と治療過程のある操作の写真(別冊午後 No.38 B)を別に示す。

矢印で示す材料はどれか。1つ選べ。

- a 印象材
- b 咬合採得材
- c 適合試験材
- d 合着セメント

▶ 歯科診療補助

No.38 A



B



## 選択肢考察

- × a、× b 写真 A で作業用模型と製作したブリッジが示されているため、印象採得や咬合採得は既に終了している。
- c 写真 B は矢印で示すシリコーンゴムを用いて、ブリッジ内面の適合度確認を行った過程である。
- × d 隣接歯との接触状態、辺縁および内面の適合度確認、咬合調整が完了した後、仮着あるいは合着する。仮着する場合は仮着用セメントを用いる。

正解 c

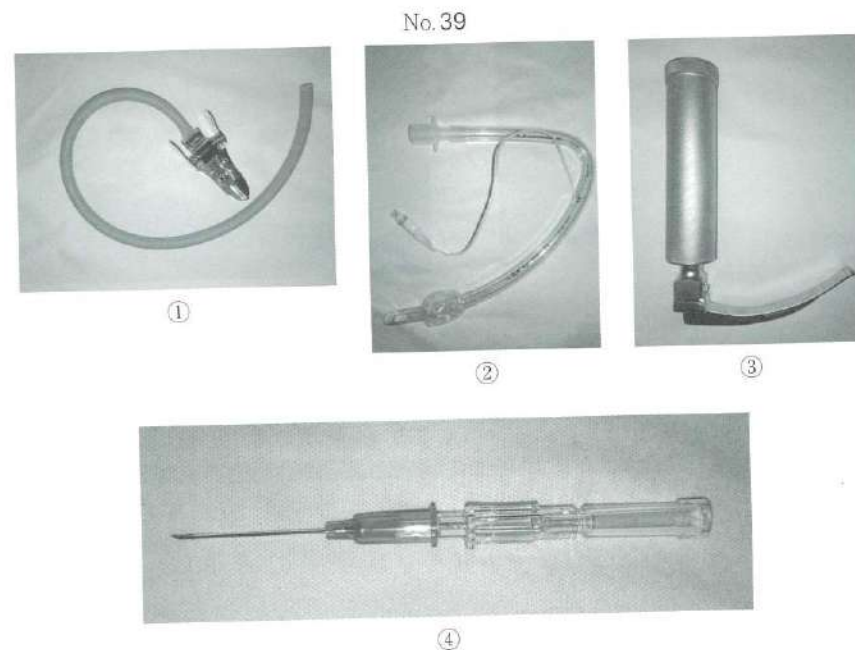
DH 25:P 401

【問題 106】 22歳の男性。極度の歯科治療恐怖症のため、全身麻酔下で下顎水平埋伏智歯の抜去を行うことになった。プロポフォールによる麻酔導入時に用いる器具の写真(別冊午後 No.39)を別に示す。

気管挿管に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶ 歯科診療補助



選択肢考察

- × a、× d ①の駆血帯を用いて駆血した後に、④の留置針を用いて静脈路確保を行う。  
○ b、○ c 気管挿管では③の喉頭鏡で喉頭展開を行い、②の気管チューブを気管内に挿入する。

正解 b、c

📖 要点集 341:P63

要点

プロポフォールによる麻酔導入とは急速導入のことである。これはマスクで酸素投与後、静脈麻酔薬(本問ではプロポフォール)を投与して導入していく方法である。静脈路確保が出来ていることが前提である。また、マスクで吸入麻酔薬(セボフルランなど)を吸入させて導入を行う方法を緩徐導入という。事前に静脈路確保されていない小児や障害者などが適応となる。

【問題 107】 血液/ガス分配係数が最も低いのはどれか。1つ選べ。

- a ハロタン  
b 亜酸化窒素  
c イソフルラン  
d セボフルラン

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- b 吸入麻酔薬の血液/ガス分配係数はハロタン(2.3) > イソフルラン(1.4) > セボフルラン(0.63) > 亜酸化窒素(0.47) > デスフルラン(0.42)である。

正解 b

📖 要点集 341:P63

要点

血液/ガス分配係数は、37℃ 1気圧の下で血液 1mL に溶ける麻酔薬ガスの量(mL)である。吸入麻酔薬が平衡状態に達したときの肺胞濃度に対する血液中の吸入麻酔薬濃度の比を示す。値が大きいと吸入麻酔薬の血液への溶解性が高く、導入や覚醒が遅くなる。

【問題 108】 オーラルディアドコキネシスで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 測定時間は30秒である。  
b 息つぎの回数を記録する。  
c 「カ」の発音時に舌前方の動きを評価する。  
d 舌、口唇および軟口蓋の巧緻性を評価する。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 測定時間は10秒である。  
× b 息つぎの回数を測定するものではない。  
× c 「カ」は舌後方の動きを評価する。  
○ d 舌、口唇および軟口蓋の巧緻性を評価するものである。

正解 d

📖 DH 25:P549

要点

オーラルディアドコキネシスは、舌、口唇、軟口蓋などの運動の速度や巧緻性の評価を、発音を用いて行なうもので、口唇や舌の動きの速度やリズムを評価する。10秒間測定して1秒間に換算する。息つぎをしてもよいことを伝える必要がある。口唇の動きを評価するには「パ」を、舌前方の動きを評価するには「タ」を、舌後方の動きを評価するには「カ」を用いる。



喉頭展開 126
紅板症 74
咬齧法 84
高齢者の加齢変化 68
鈎腕 91
コーンのブライヤー 119
コクサッキーウイルス 30
国勢調査 17
鼓索神経 70
ゴシックアーチ 28
鼓室神経 70
固体半導体センサー 124
骨髄 21
骨粗鬆症 41, 105
骨ノミ 60
固定性ブリッジ 28
子ども・子育て支援法 83
コホート研究 75
コレステロール 4
根尖切除 24
コンタクトゲージ 120
コンタクトポイント 44
コンプライアンス 73
コンボジットレジン修復 25, 33, 88, 122
根面う蝕 26
根面被覆 24

さ

細菌性要因 104
再興感染症 83
細菌傷害性T細胞 74
サブリン 7
サルコペニア 98
三叉神経 70
三叉神経痛 30
酸素 63

し

次亜塩素酸ナトリウム 117
仕上げ磨き 109
シーラント 102
シーラント処置 80
シェーグレン症候群 26
シェードガイド 122
歯科衛生過程 47
歯科衛生教育活動 50
歯科衛生士 128
歯科衛生士法 13
歯科疾患実態調査 78
耳下腺 6
歯科治療恐怖症 63, 126
歯科予防処置 101
始業前の点検 117
シクロスポリン 26
止血鉗子 123
歯垢染色剤 113
自己抗体 94
歯根端切除術 57
歯根膿瘍 57
歯周外科治療 86
口臭症 105
歯周病原細菌 105
思春期 97
持針器 57
歯髓壊死 23, 86
歯髓壊疽 86
歯石 42, 107
市町村保健センター 75

疾病予防の概念 81
児童虐待の防止等に関する法律 83
児童福祉法 83
歯肉圧排用綿糸 56
歯肉増殖症 88
歯肉弁根尖側移動術 24
歯肉弁側方移動術 24
歯磨剤の成分 13, 82
シャーピー線維 70
シャープニング 106
社会福祉法 19
煮沸消毒 55
充血 72
重症急性呼吸器症候群 111
集団に対する歯科保健指導 111
宿主要因 104
主訴 21
術者の姿勢 107
出生前期 97
授乳・離乳の支援ガイド 53
ジュネーブ宣言 20
障害者に関するマーク 37
消化酵素 4
小窩裂溝填塞 42
笑気 63
床矯正装置 92
消息子 62
情動の発達 34
消毒薬 117
消毒用エタノール 117
小児の口腔管理 109
上皮性腫瘍 9
静脈麻酔薬 126
静脈路確保 126
条例 77
症例対照研究 75
食事摂取基準 116
食事バランスガイド 52
胎診 85
瘻管性潰瘍 29
食中毒 80
食物残渣 77, 112
処置歯 80
シリコンゴム 125
新型コロナウイルス感染症 83
心筋細胞 69
新興感染症 83
人工歯選択 59
侵襲性歯周炎 104
新生児期 97
身体障害者標識 37
心理的アプローチ 63
す
垂直加圧充填法 25
垂直ゴム 96
水平位 107
水平的顎間関係 28
スクラージェ 4
スクラビング法 113
スクリーニング検査 12
スティッピング 37
ステファンカーブ 14
ストラクチャー評価 45
ストリップス 120
スプレッター 39
スポーツマウスガード 92
スポンジブラシ 45, 76

せ
生活歯の漂白 87
生活習慣病 111
生活保護法 19
声帯 69
政令 77
積層印象法 25
積層充填法 25
舌咽神経 6
切開排膿 121
舌訓練 63
摂食嚥下リハビリテーション 98
摂食姿勢 65
接触点 44
舌接触補助床 101
舌突出癖 94
セビメリン 73
セボフルラン 127
全身性エリテマトーデス 30
喘息 73
先天性梅毒 97
剪刀 57
そ
相加作用 72
特別管理一般廃棄物 81
相乗作用 72
側頭筋 2
側頭骨 3
側方加圧充填法 25
側頭部エックス線規格写真 32
ソルデ 62

た

ターナー歯 97
第一次予防 81
体温計 85
代償的アプローチ 63
帯状疱疹ウイルス 93
胎生期 97
大唾液腺 6
第二次予防 81
ダイヤモンドポイント 59
唾液の作用 14
唾液の成分 11
タキフィラキシー 73
タフトブラシ 76
タンクステンカーバイドバー 59
炭酸ガスレーザー 118

ち

地域包括ケアシステム 19
地域保健法 19, 75
チゼル 60
チャーターズ法 15, 113
着色 23, 41
中心結節 9
中心静脈栄養 99
中水準消毒薬 117
超音波スケラール 103
蝶形骨 3
直接導法 89
治療係数 7
治療的アプローチ 63

つ

ツイードアーチベンディングブライヤー 61

て
低栄養状態 98
低温プラスマ滅菌 55
低水準消毒薬 117
ディスタルエンドカッター 61
適合試験材 125
デジタル撮影 124
デスフルラン 127
手づかみ食べ 53
デュシェンヌ型筋ジストロフィー 35
電気的根管長測定器 22
電撃様疼痛 30
デンタルフロス 120
天疱瘡 94

と

糖尿病 105, 111
頭部エックス線規格写真 32, 60
頭部挙上訓練 98
動脈血酸素飽和度 85
トークンエコノミー法 61, 122
トームス線維 70
特異的予防 81
特異度 12
特定保健用食品 115
特別管理一般廃棄物 17
特別養護老人ホーム 16
特別用途食品 115
トッフルマイヤーのリテーナー 58, 120
トリブシン 4
ドレーン 121

な

内歯層 87
内側鼻突起 5
内側翼突筋 2
ナチュラルキラー細胞 74
軟口蓋 69

に

ニコルスキー現象 94
二次医療圏 75
二次口蓋 5
日常生活動作 100
二等分法 84
ニトログリセリン 88
ニフェジピン 26, 88
乳児期 97
乳頭腫 9
乳幼児の口腔清掃 82
妊産婦の栄養管理 110
妊娠高血圧症候群 110
認知機能の評価法 35
認知症 51, 112, 114

ね

ネオジウムヤグレーザー 118
粘膜ブラシ 76

の

脳梗塞 101
脳波モニタ 85
ノンメタルクラスプデンチャー 29

ほ

バードビークブライヤー 61
バイオネーター 32
肺活量 68
廃棄物の区分 17

肺気量分画 68
白板症 74
バス改良法 113
バス法 15
発育期の分類 97
抜歯鉗子 56, 123
抜歯鉗子 123
抜髄 89
抜髄針 62
ハッチンソン歯 97
歯の生理的動揺 38
歯のフッ素症 97
パノラマエックス線撮影 84
針刺し事故 84
パルスオキシメータ 85
パレーの3圧痛点 30
ハロタン 127
半導体レーザー 118
ハンドオーバーマウス法 61
バンドコンタリングブライヤー 118
バンドシーター 118
バンドブロッカー 118
バンドリムービングブライヤー 118

ひ

非感染性疾患 111
非融合的拮抗 72
ヒスタチン 11
ビスフォスフォネート製剤 31
ビタミンA 110, 116
ビタミンC 110
ビタミンD 4, 116
肥満細胞 74
標示線 59
表面麻酔 121
ピロカルピン 73
ピンアンドリガチャーカッター 61
貧血 72

ふ

ファーゲーションプローブ 39
不安定細胞 69
フィブリン 3
フードテスト 101
フェストウーン 37
フェニトイン 26, 73, 88
フォーンズ法 15
不可逆性歯髄炎 86
副作用 73
服薬指導 73
腐骨 31
浮腫 71
フッ化ジアンミン銀 102
フッ化水素 79, 88
フッ化物イオン量 39
フッ化物歯面塗布 11, 43, 109
フッ化物洗口 102, 106
フッ化物洗口開始の対象年齢 106
フッ化物バーニッシュ 102
フッ化物配合歯磨剤 40
フッ素量 39
フットコントローラー 117
ブラーケ細菌 8
ブラークリテンションファクター 42
プライマリーヘルスケア 20
ブラッシング圧 54
ブラッシング法 15
ブラッシング法 61
フラップ手術 24, 60

プランマー・ビンソン症候群 93
ブリッジ 28, 125
フルニエ歯 97
フレイル 116
フレنگル装置 32
ブローピング 44
ブロックアウト 62
プロビジョナルレストレーション 123
プロポフォル 126

へ

閉塞性睡眠時無呼吸症候群 92
ペーチェット病 30
ペーパースーツ 111
ヘーベル 123
ペブシン 4
ヘモグロビン値 84
ペリオドンタルメディシン 41
ペリクル 77
ヘルシンキ宣言 20
ヘルスプロモーション 10
ヘルトウィッチ上皮靴 70
ヘルパーT細胞 74
ヘルパンギーナ 30
ベンザルコニウム塩化物 117
変色 23, 41, 97
ベンゼン 79

ほ

ポイツ・ジェガース症候群 93
蜂窩織炎 121
抱合 10
放射線感受性 21
放射線治療 26, 45
法律 77
ホームブリーチ 87
ボーンサウンディング 86
保健所 75
保護者の記録 46
母指吸引機 94
母子健康手帳 46, 83
母子保健法 83
ほじょ犬マーク 37
哺乳期 82
ポピュレーションアプローチ 48
ポリファーマシー 73
ボンディック 28

ま

埋伏歯 84
マクロファージ 74
マクキューン・オルブライト症候群 93
末梢静脈炎 99
マテリアルバ 77
マトリックスポンド 120
マラッセ上皮遺残 70
マラリア 83
慢性化膿性根尖性歯周炎 87
慢性剥離性歯肉炎 26
慢性閉塞性肺疾患 111

み

味覚 70

む

ムース 64
無機質 2
無歯顎顔貌 89
むし歯 80

無糖歯の漂白	87
ムチン	11

<b>め</b>	
迷走神経	70
メンテナンス	40, 44
メタボリックシンドロームの診断基準	
	47
メチルアミン	79
メチルメルカプタン	79
滅菌器	55
メラニン色素	106
免疫グロブリン	6
免疫抑制薬	26

<b>も</b>	
モデリング法	122
物忘れ	114
問診	85

<b>や</b>	
薬剤師	128
薬物性歯肉増殖症	26
薬物代謝	10
薬物と副作用	73

<b>ゆ</b>	
有鉤探針	39
遊離歯肉移植術	24
癒合歯	33

<b>よ</b>	
要観察歯	80
幼児期	97
用量反応関係	72
用量反応曲線	7
翼突筋窩	2
翼突筋粗面	2
予備吸気量	68
予備呼気量	68

<b>ロ</b>	
ラウンドバー	59
ラミネートベニア装置	88
ラムゼーハント症候群	93
ランダム化比較試験	75

<b>り</b>	
リーマー	62
リソチーム	11
リップサポート	36, 59, 89
リップバンパー	95
離乳期	82
リベース	112
留置針	126
リング状リテーナー	58
リン酸	42
隣接面板	91

<b>る</b>	
類天疱瘡	30, 94

<b>れ</b>	
レスト	91

<b>ろ</b>	
瘻孔	87
労働安全衛生法	79
ローリング法	15

<b>数字</b>	
1 回換気量	68
1 歯ずつの縦磨き法	113
Ⅱ級ゴム	96
2 色性歯垢染色剤	113
Ⅲ級ゴム	96
3 歳児健康診査	83
50%致死量	7
50%有効量	7

<b>A-Z</b>	
<b>A</b>	
ADL	100
<i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i>	104
Angleの不正咬合の分類	95

<b>B</b>	
Barthel Index	100
BCGワクチン	16
BDR指標	49
BISモニタ	85
BLS	64

<b>C</b>	
CAD/CAM	62
CCD	124
CMOS	124
CO <sub>2</sub> レーザー	118
COPD	111
COVID-19	83
CPIの判定基準	81
CPIプローブ	39
CRシリンジ	58

<b>E</b>	
ED <sub>50</sub>	7
Er:YAGレーザー	118

<b>F</b>	
<i>Fusobacterium</i>	8
<i>Fusobacterium nucleatum</i>	104

<b>G</b>	
GI	18

<b>H</b>	
HDS-R	35
HIV	74

<b>I</b>	
IADL	100
IP	124
I型アレルギー	74

<b>K</b>	
Keyesの3つの輪	104

<b>L</b>	
LD <sub>50</sub>	7
LeavellとClark	81

<b>M</b>	
McCune-Albright症候群	93
MMSE	35

<b>N</b>	
NCDs	111
Nd:YAGレーザー	118

Newbrunの4つの輪	104
NK細胞	74
NST	128

<b>O</b>	
OHI-S	18, 38
OSAS	92

<b>P</b>	
PAP	101
PCR	48
Peutz-Jeghers症候群	93
PHP	18
PI	18
P&I	18
Plummer-Vinson症候群	93
PMTIC	108
<i>Porphyromonas gingivalis</i>	104
<i>Prevotella intermedia</i>	104

<b>Q</b>	
QOL	93

<b>R</b>	
Ramsay Hunt症候群	93
RDテスト®	108
RSST	112

<b>S</b>	
sigA	6
SPT	40

<b>T</b>	
TEACCH法	122
Tell Show Do法	122

# 341

## 巻末資料..... ~基礎系~